



JSBI 2023 Report (速報版)

Japan Sustainable Brands Index

2024.02.21 / Ver-1.0 | サステナブル・ブランド ジャパン アカデミックチーム

調査目的

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

SDGsが始まって9年が経ち、2030年まで残りは6年。私たちはどこまで持続可能な社会に近づいているのでしょうか？本調査によれば、SDGsの認知度は昨年からはほぼ9割とほぼ頂点に達しましたが、その理解度については変化がなく、深まってはおりません。むしろSDGsの重要度については全体的に低下傾向にあり、「SDGs疲れ？」が出てきているのかも知れません。一方で、この冬も記録的な暖冬であり、脱炭素の歩みを止めるわけには行きません。

地球環境や社会問題に関わるサステナビリティに対して、経済セクターである企業が果たす役割は大きく、その外部不経済を見過ごすわけにはいなくなっています。単にその看板を掲げるだけではなく、企業の商品やサービスによって生活者がサステナブルな暮らしを実現できるように徹することで、結果としてサステナブルなブランドとして企業や商品が評価されるのだと思います。

JSBI(Japan Sustainable Brands Index)は、こうした活動の企業努力がどれほど生活者に伝わっているのかを調査し、評価することで、互いに学び合うサステナブルな社会の実現の一助となることを目指す調査です。サステナビリティの実現には、企業の真摯な取り組みが求められるのはもちろん、社会にインパクトのあるアイデアやクリエイティビティ、実行力も重要です。皆さんの努力が指標とし結果に現れ、さらに今後の戦略決定に寄与できるように分析手法を常に検討しております。

今回、4回目の調査となりますが、企業規模に拘らずサステナビリティの観点から企業を評価し、それぞれの考え方や取り組み、戦略を相互に学ぶ機会となればと所望する次第です。

サステナブル・ブランド ジャパン アカデミックチーム

青木 茂樹 (駒澤大学経営学部教授・SB国際会議 アカデミックプロデューサー)

INDEX

- I. JSBI 2023 Ranking
- II. JSBI2022調査対象企業(306社)の昨対比較 | Top 100
- III. 「SDGs貢献イメージ得点」と「SDGs評価得点」
- IV. 業種別順位とその傾向
- V. 業種内ランキング
- VI. SDGs認知調査
- VII. Appendix
 - a. 生活者のサステナビリティに関する取り組みの調査
 - b. 情報収集媒体に関する調査

I. JSBI2023 Ranking



JSBIと他のIndexとの違い

JSBI : Japan Sustainable Brands Index



JSBI : Japan Sustainable Brands Index

SDGsやサステナビリティ活動に対して、関心の高い生活者の視点を重視し、彼らのSDGsや各企業のサステナビリティ活動への認識が、実際の行動（購買や推奨など）にどのような影響を及ぼすのかを分析している点が、JSBIの特徴です。

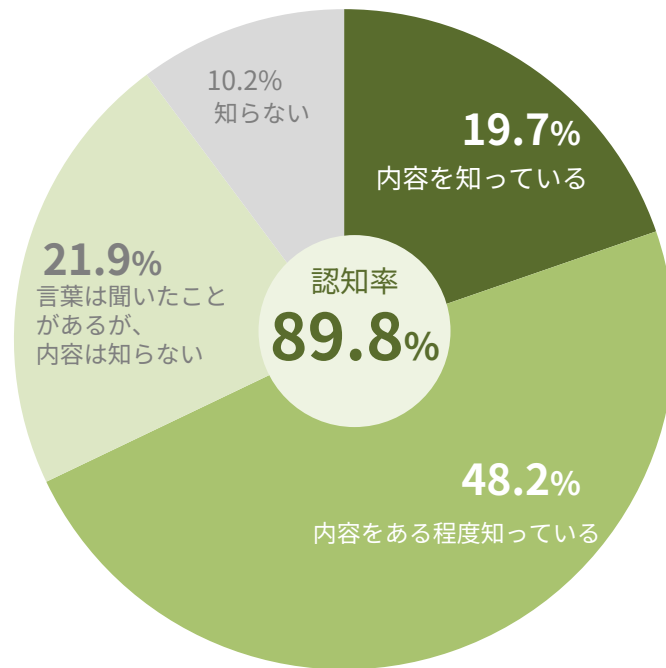
CSR調査

人材活用・雇用問題への取り組み、環境問題への基本的取り組み、社会的課題の解決に向けた取り組みなどについて、活動主体である企業に対する調査をもとに評価をしています。

ブランド調査

生活者やビジネスパーソンからのブランドイメージや魅力度などの総合的な評価をベースとしています。

あなたは、SDGs（サステナブル・ディベロップメント・ゴール：持続可能な開発目標）をご存じですか。

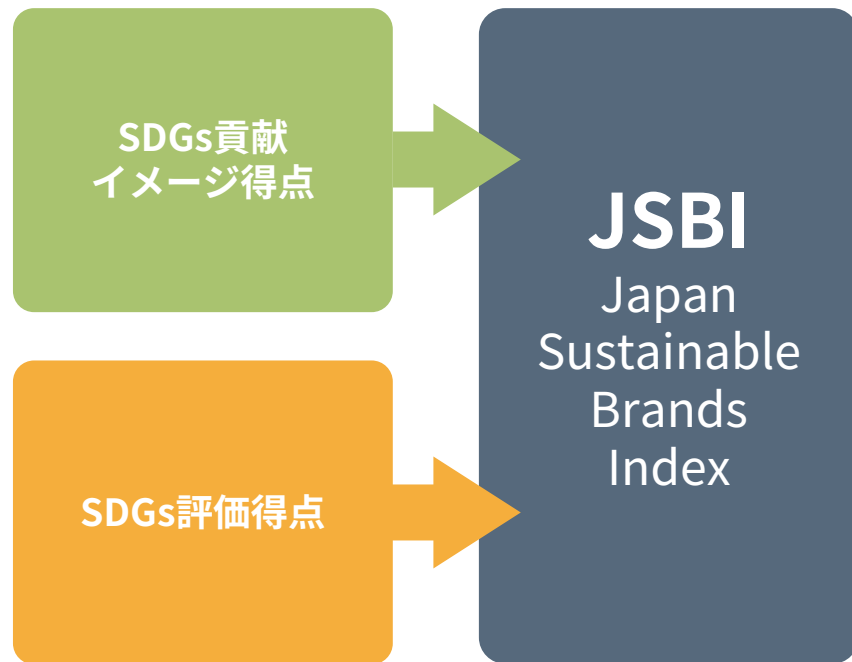


SDGsを軸としたJSBIの分析

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

SDGsに貢献しているイメージがあるかを100点満点で評価する「SDGs貢献イメージ得点」と、SDGsの17目標について、企業が取り組むことが重要かを測る「重要度」および実際に各企業がこれらの目標に取り組んでいると思うかを測る「SDGs企業評価」から成る「SDGs評価得点」を基準化し、評価を試みました。

「SDGs貢献イメージ得点」における順位と「SDGs評価得点」における順位の違いから、マーケティングやコミュニケーション活動への示唆が得られました。



JSBI 2023 Top 10 企業

JSBI 2023 (SDGs貢献イメージ得点+SDGs評価得点)

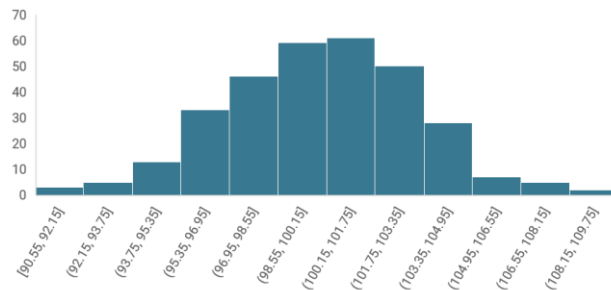
順位	企業名	JSBI 2023	SDGs貢献 イメージ得点			SDGs 評価得点	
1	良品計画(無印良品)	108.54	1	55.41	≫	7	53.13
2	トヨタ自動車(TOYOTA)	108.40	4	54.12	≒	1	54.28
3	ファーストリテイリング *ユニクロ・GU他	107.99	2	55.15	≫	9	52.84
4	住友林業	107.42	9	53.38	<	2	54.03
5	クボタ(Kubota)	107.32	5	54.05	>	3	53.27
6	イオン(AEON)	106.86	8	54.71	>	5	53.16
7	味の素AGF *ブレندی他	106.61	3	54.13	≫	15	52.48
8	王子ネピア *ネピア他	106.47	10	53.21	≒	4	53.26
9	セブン&アイ・ホールディングス *イトーヨーカ堂他	106.41	6	54.00	≫	19	52.41
10	三井化学	105.76	7	53.91	≫	34	51.85

東の横綱「良品計画(無印良品)」が、昨年に引き続き1位です。僅差で、「トヨタ自動車(TOYOTA)」が西の横綱となりました。トヨタ自動車は調査開始以来SDGs評価得点において首位を独占し続けており、SDGs貢献イメージ得点も高く、バランスがとれています。まさに王者の風格です。

2年連続東の横綱となった良品計画、3位となったファーストリテイリングは、SDGs評価得点よりSDGs貢献イメージ得点の方が相対的に高いという結果です。

住友林業、クボタなど第1次産業に関わる企業の評価が高いのもJSBIの特徴だと言えるでしょう。

JSBIのヒストグラム(2023)



※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

※ ≫ : 得点差1.5pt.以上 < > : 得点差0.5pt.~1.5pt. ≒ : 得点差0.5pt.以下

JSBI 2023 Ranking | 1位~100位

SDGs貢献イメージ得点+SDGs評価得点



良品計画(無印良品)とトヨタ自動車(TOYOTA)の
 ツートップは盤石。
 ※順位のみには捕らわれず、業種・自社の状況や特性を
 知ることが重要です。



順位	企業名	JSBI 得点	順位	企業名	JSBI 得点	順位	企業名	JSBI 得点	順位	企業名	JSBI 得点
1	良品計画(無印良品)	108.54	26	セブン-イレブン・ジャパン(7-Eleven)	103.88	51	ロート製薬(ROHTO)	103.08	76	江崎グリコ	102.10
2	トヨタ自動車(TOYOTA)	108.40	27	ヤクルト本社(Yakult)	103.87	52	マルハニチロ	103.02	77	イケア(IKEA)	102.10
3	ファーストリテイリング*ユニクロ・GU他	107.99	28	東日本高速道路(NEXCO東日本)	103.85	53	モンベル(mont-bell)	103.01	78	三菱重工業	102.10
4	住友林業	107.42	29	楽天グループ	103.85	54	テルモ	102.99	79	大和ハウス工業(Daiwa House)	102.09
5	クボタ(Kubota)	107.32	30	グーグル(google)	103.79	55	モスフードサービス(モスバーガー)	102.94	80	エーザイ(Eisai)	102.07
6	イオン(AEON)	106.86	31	東京ガス(TOKYO GAS)	103.77	56	商船三井	102.93	81	東洋水産*マルちゃん他	102.04
7	味の素A G F*フレンディ他	106.61	32	味の素(AJINOMOTO)	103.64	57	麒麟ビール(KIRIN)	102.91	82	任天堂	102.02
8	王子ネピア*ネピア他	106.47	33	TOTO	103.62	58	FOOD&LIFE COMPANIES*スシロー他	102.90	83	中外製薬	102.00
9	セブン&アイ・ホールディングス*イトーヨーカ堂他	106.41	34	スズキ(SUZUKI)	103.59	59	ネスレ(Nestle)*ネスカフェ・キットカット他	102.85	84	日産自動車(NISSAN)	101.94
10	三井化学	105.76	35	武田薬品工業	103.57	60	キユーピー	102.78	85	旭化成ホームズ(ヘーベルハウス)	101.90
11	ウォルト・ディズニー・ジャパン	105.32	36	キッコーマン	103.49	61	ヤマハ発動機*輸送用機器	102.73	86	UR都市機構*UR賃貸住宅	101.88
12	アップルジャパン(Apple)	105.27	37	生協(Co-op)	103.48	62	ライオン(LION)	102.65	87	住友化学	101.87
13	パナソニック(Panasonic)	105.25	38	山崎製パン	103.48	63	リクシル(LIXIL)	102.55	88	島津製作所	101.82
14	P & G(プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	105.01	39	パタゴニア(patagonia)	103.45	64	サラヤ	102.52	89	ヤンマー(YANMAR)	101.78
15	ハウス食品(House)	104.91	40	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	103.43	65	ラッシュジャパン(LUSH)	102.51	90	日本マクドナルド	101.78
16	ユニ・チャーム(unicharm)	104.77	41	旭化成(AsahiKASEI)	103.41	66	ソニー(SONY)	102.41	91	星野リゾート	101.76
17	ENEOS	104.71	42	カゴメ(KAGOME)	103.41	67	全日本空輸(ANA)	102.40	92	雪印メグミルク	101.75
18	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	104.61	43	積水化学工業(SEKISUI)	103.31	68	大阪ガス	102.39	93	東日本電信電話(NTT東日本)	101.74
19	日立製作所(HITACHI)	104.59	44	岩谷産業(iwatani)	103.29	69	日揮ホールディングス	102.33	94	カネカ(kaneka)	101.74
20	日本製紙クレシア*クリネックス・スコッティ他	104.55	45	サントリ- (SUNTORY)	103.20	70	フジパンググループ本社	102.25	95	コスモ石油	101.74
21	ダイキン工業(DAIKIN)	104.48	46	ファンケル(FANCL)	103.20	71	日本水産(ニッスイ)	102.25	96	アマゾンウェブサービスジャパン(AWS)*クラウド・サービス	101.73
22	森永乳業(morinaga)	104.36	47	アイリスオーヤマ	103.17	72	村田製作所(muRata)	102.19	97	帯人(TEI JIN)	101.73
23	ダスキン(DUSKIN)*衛生サービス	104.28	48	小松製作所(KOMATSU)	103.16	73	伊藤ハム	102.19	98	三菱ケミカルホールディングス	101.71
24	積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	104.04	49	コクヨ(KOKUYO)	103.14	74	Loop(Loopでんき)	102.12	99	ジョンソン・エンド・ジョンソン	101.71
25	大塚製薬(Otsuka)	103.89	50	花王(Kao)	103.11	75	西日本旅客鉄道(JR西日本)	102.11	100	大成建設	101.69

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

JSBI 2023 Ranking | 101位~200位



SDGs貢献イメージ得点+SDGs評価得点

順位	企業名	2023 JSBI	順位	企業名	2023 JSBI	順位	企業名	2023 JSBI	順位	企業名	2023 JSBI
101	三井物産	101.69	126	スノーピーク(snow peak)	100.93	151	関西電力	100.19	176	KPMG ジャパン	99.61
102	テスラ(Tesla)	101.67	127	オリエンタルランド(東京ディズニーリゾート)	100.91	152	小林製薬	100.19	177	日本たばこ産業(JT)	99.60
103	クラシエ	101.67	128	コーセー(KOSE)	100.89	153	東芝(TOSHIBA)	100.16	178	日本アイ・ピー・エム(I B M)	99.60
104	伊藤忠商事	101.65	129	富士フイルム(FUJIFILM)	100.86	154	アマゾンジャパン(amazon)	100.15	179	ジェシービー(JCB Card)	99.57
105	エステー	101.63	130	出光昭和シェル	100.83	155	キーコーヒー	100.14	180	森ビル(MORI)	99.57
106	スバル(SUBARU)	101.52	131	川崎重工	100.82	156	ダイソン(dyson)	100.14	181	ヤマハ(YAMAHA) *楽器	99.49
107	日本ハム	101.43	132	イトーキ *オフィス機器・家具他	100.80	157	ホンダ(HONDA)	100.12	182	マツダ(MAZDA)	99.49
108	ワークマン(WORKMAN)	101.42	133	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ	100.78	158	コニカミノルタ	100.12	183	PwC Japanグループ	99.49
109	N T Tデータ	101.41	134	東京地下鉄(東京メトロ)	100.70	159	BASF	100.11	184	EY Japan	99.43
110	ゴールドウイン *ザ・ノース・フェイス他	101.40	135	三菱商事	100.68	160	アディダスジャパン(adidas)	100.10	185	日本製鉄	99.38
111	小田急電鉄(odakyu)	101.40	136	サンスター	100.64	161	セイコーエプソン(EPSON)	100.10	186	住友ゴム工業 *ダンロップ	99.36
112	ユー・エス・ジェイ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)	101.34	137	ブックオフコーポレーション	100.62	162	大林組	100.09	187	ニチレイ	99.32
113	日本マイクロソフト(Microsoft)	101.32	138	オムロン(OMRON)	100.60	163	京セラ(KYOCERA)	100.07	188	リンナイ(Rinnai)	99.30
114	東日本旅客鉄道(JR東日本)	101.24	139	竹中工務店	100.57	164	ソニー・インタラクティブエンタテインメント(PlayStation)	100.04	189	東京電力(TEPCO)	99.24
115	ダイハツ工業(Daihatsu)	101.17	140	日本コカ・コーラ	100.52	165	ブリヂストン(BRIDGESTONE)	100.02	190	ダイソー	99.23
116	グンゼ(GUNZE)	101.15	141	横河電機 *工業計器他	100.51	166	サイゼリア	99.90	191	内田洋行 *オフィス機器・家具他	99.21
117	日清紡ホールディングス(NISSHINBO)	101.15	142	UPDATER(みんな電力)	100.47	167	日本郵船	99.86	192	ミズノ(mizuno)	99.20
118	東レ(TORAY)	101.14	143	ファミリーマート(FamilyMart)	100.44	168	横浜ゴム(YOKOHAMA)	99.86	193	ローソン(LAWSON)	99.10
119	日本製紙	101.13	144	日清食品(NISSIN)	100.41	169	タイガー魔法瓶	99.82	194	LEGO	99.02
120	N E C(日本電気)	101.12	145	清水建設	100.40	170	ワコール(Wacoal)	99.80	195	セールスフォース・ドットコム(salesforce)	99.00
121	アストラゼネカ	101.10	146	NECネットズエスアイ	100.39	171	トリンプ・インターナショナル(Triumph)	99.76	196	ニコン(Nikon)	98.91
122	凸版印刷	101.09	147	JERA	100.30	172	伊藤園(ITOEN)	99.69	197	三菱地所	98.86
123	象印マホービン	101.09	148	エルメス (Hermes)	100.30	173	堀場製作所 *計測機器	99.67	198	すかいらーく *ガスト他	98.79
124	ノボルディスクファーマ	101.06	149	明治(meiji)	100.29	174	シャープ(SHARP)	99.67	199	デロイト トーマツ グループ	98.78
125	YKK AP *アルミサッシ・窓 他	101.00	150	三菱電機(MITSUBISHI ELECTRIC)	100.27	175	鹿島	99.65	200	学研ホールディングス(Gakken)	98.78

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

JSBI 2023 Ranking | 201位~312位



SDGs貢献イメージ得点+SDGs評価得点

順位	企業名	2023 JSBI	順位	企業名	2023 JSBI	順位	企業名	2023 JSBI	順位	企業名	2023 JSBI
201	アサヒビール(Asahi)	98.76	231	ミツカン(mizkan)	98.25	261	バーソル*テンプスタッフ 他	96.76	291	キッツ	95.41
202	森永製菓(MORINAGA)	98.76	232	日本航空(JAL)	98.20	262	博報堂	96.75	292	日本郵政(日本郵政グループ)	95.33
203	YKK*ファスナー他	98.70	233	大日本印刷	98.20	263	ポーラ(POLA)	96.73	293	野村不動産	95.32
204	王子ホールディングス	98.68	234	三和酒類*いいちこ他	98.18	264	パンダイナムコエンターテインメント	96.52	294	日本郵便	95.31
205	日本ロレアル(LOREAL)	98.65	235	日本通運	98.16	265	ケリング・グループ*グッチ他	96.47	295	大和証券	95.24
206	カルビー(calbee)	98.63	236	ナイキ(NIKE)	98.10	266	明治安田生命保険	96.45	296	B MW	95.21
207	zozo	98.63	237	デンソー	98.08	267	ヤフー(YAHOO!)	96.45	297	プリンスホテル	95.00
208	東海旅客鉄道(JR東海)	98.63	238	ニトリ	98.00	268	三菱ふそうトラック・バス	96.44	298	LINE	94.99
209	帝人フロンティア	98.62	239	シチズン時計(CITIZEN)	97.90	269	テレビ朝日	96.44	299	日本生命保険(NISSAY)	94.73
210	ベネッセホールディングス(Benesse)	98.61	240	富士通(FUJITSU)	97.66	270	三井住友海上(MS&AD)	96.42	300	三井住友信託銀行	94.47
211	東急電鉄(TOKYU)	98.58	241	LVMHグループ*ルイヴィトン他	97.60	271	オリックス(ORIX)	96.39	301	ボルボ(VOLVO)	94.47
212	アスクル(ASKUL)	98.57	242	キヤノン(canon)	97.53	272	JTB	96.33	302	日本放送協会(NHK)	93.97
213	ゼンショーホールディングス*すき家・なか卯他	98.55	243	H&M	97.53	273	ダイセル	96.29	303	メルカリ(mercari)	93.96
214	ステラマッカートニー	98.54	244	サッポロビール(SAPPORO)	97.49	274	フィリップモリス(Philip Morris)	96.21	304	メルセデス・ベンツ	93.88
215	S A P ジャパン	98.54	245	三井住友銀行(SMBC)	97.46	275	KDDI(au)	96.21	305	佐川急便(SAGAWA)	93.30
216	オリンパス	98.51	246	セイコー(SEIKO)	97.45	276	フジテレビジョン	96.05	306	みずほ銀行(MIZUHO)	93.30
217	MHD モエ ヘネシー デリアジオ *モエ・エ・シャンドン他	98.51	247	第一生命	97.43	277	アフラック生命(Aflac)	96.03	307	住友生命保険	93.26
218	資生堂(SHISEIDO)	98.43	248	日本旅行	97.37	278	アウディ	95.90	308	Netflix	93.08
219	QVC	98.41	249	ヤマト運輸	97.36	279	ディー・エヌ・エー(DeNA)	95.89	309	日本中央競馬会(JRA)	92.62
220	オカムラ*オフィス機器・家具他	98.40	250	N T T ドコモ(docomo)	97.36	280	野村證券	95.86	310	電通	91.64
221	貝印	98.39	251	ブラザー工業*ミシン・プリンター他	97.26	281	パナソニック	95.85	311	吉本興業	91.21
222	UCC上島珈琲	98.37	252	リクルートホールディングス	97.25	282	カシオ計算機(CASIO)	95.81	312	ゆうちょ銀行	90.55
223	リコー(RICOH)	98.37	253	ワタミグループ*和民・ワタミの宅食他	97.20	283	丸井グループ	95.74			
224	ドトールコーヒー	98.37	254	エイチ・アイ・エス(HIS)	97.03	284	損害保険ジャパン(SOMPO)	95.73			
225	トリドールホールディングス*丸亀製麺他	98.34	255	TBSテレビ	97.03	285	近畿日本ツーリスト	95.69			
226	コメダ珈琲所コメダ珈琲店	98.34	256	l-ne *BOTANIST・YOLU他	96.99	286	吉野家	95.68			
227	東京海上日動	98.33	257	帝国ホテル	96.96	287	三菱UFJ信託銀行	95.67			
228	三井不動産	98.27	258	三越伊勢丹ホールディングス	96.96	288	アシックス(ASICS)	95.61			
229	ライフル(LIFULL)	98.27	259	かんぽ生命保険	96.91	289	ソフトバンク(SoftBank)	95.59			
230	VISA(VISA Card)	98.27	260	Meta(Facebook)	96.86	290	三菱UFJ銀行(MUFG)	95.58			

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映していません。

SDGs貢献イメージ得点 2023 Ranking | TOP 100



SDGs貢献度を基準化し算出

順位	企業名	イメージ 得点	順位	企業名	イメージ 得点	順位	企業名	イメージ 得点	順位	企業名	イメージ 得点
1	良品計画(無印良品)	55.41	26	バタゴニア(patagonia)	52.22	51	全日本空輸(ANA)	51.63	76	キリンビール(KIRIN)	51.30
2	ファーストリテイリング*ユニクロ・GU他	55.15	27	ネスレ(Nestle)*ネスカフェ・キットカット他	52.19	52	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	51.62	77	ワークマン(WORKMAN)	51.29
3	味の素A G F*フレンディ他	54.13	28	ダスキン(DUSKIN)*衛生サービス	52.18	53	スズキ(SUZUKI)	51.62	78	エーザイ(Eisai)	51.27
4	トヨタ自動車(TOYOTA)	54.12	29	ウォルト・ディズニー・ジャパン	52.17	54	ヤマハ発動機*輸送用機器	51.58	79	象印マホービン	51.27
5	クボタ(Kubota)	54.05	30	ハウス食品(House)	52.16	55	日立製作所(HITACHI)	51.58	80	リクシル(LIXIL)	51.26
6	セブン&アイ・ホールディングス*イトーヨーカ堂他	54.00	31	花王(Kao)	52.13	56	モスフードサービス(モスバーガー)	51.57	81	村田製作所(muRata)	51.25
7	三井化学	53.91	32	積水化学工業(SEKISUI)	52.13	57	Loop(Loopでんき)	51.5604	82	積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	51.24
8	イオン(AEON)	53.71	33	日本製紙クレシア*クリネックス・スコッティ他	52.13	58	日本製紙	51.55	83	凸版印刷	51.21
9	住友林業	53.38	34	モンベル(mont-bell)	52.11	59	サラヤ	51.55	84	ダイハツ工業(Daihatsu)	51.18
10	王子ネピア*ネピア他	53.21	35	武田薬品工業	52.06	60	グーグル(google)	51.55	85	任天堂	51.18
11	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	52.93	36	味の素(AJINOMOTO)	52.04	61	帝人(TEIJIN)	51.52	86	日揮ホールディングス	51.17
12	コクヨ(KOKUYO)	52.90	37	岩谷産業(iwatani)	52.04	62	ファンケル(FANCL)	51.51	87	中外製薬	51.12
13	アップルジャパン(Apple)	52.84	38	山崎製パン	52.04	63	ソニー(SONY)	51.50	88	ヤクルト本社(Yakult)	51.12
14	ENEOS	52.75	39	楽天グループ	51.96	64	大塚製薬(Otsuka)	51.50	89	SUBARU(SUBARU)	51.10
15	アイリスオーヤマ	52.73	40	江崎グリコ	51.94	65	グンゼ(GUNZE)	51.49	90	マルハニチロ	51.09
16	パナソニック(Panasonic)	52.73	41	ラッシュジャパン(LUSH)	51.90	66	テルモ	51.48	91	東日本高速道路(NEXCO東日本)	51.05
17	生協(Co-op)	52.67	42	イケア(IKEA)	51.87	67	サントリー(SUNTORY)	51.48	92	ロート製薬(ROHTO)	51.05
18	キッコーマン	52.62	43	フジパングループ本社	51.87	68	商船三井	51.46	93	カネガ(kanega)	51.03
19	P & G(プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	52.62	44	小松製作所(KOMATSU)	51.86	69	島津製作所	51.44	94	コニカミノルタ	51.01
20	森永乳業(morinaga)	52.55	45	旭化成(AshahiKASEI)	51.85	70	FOOD&LIFE COMPANIES*スシロー他	51.42	95	サンスター	51.01
21	ブックオフコーポレーション	52.47	46	伊藤ハム	51.84	71	東京ガス(TOKYO GAS)	51.37	96	西日本旅客鉄道(JR西日本)	50.99
22	カゴメ(KAGOME)	52.41	47	ライオン(LION)	51.83	72	日産自動車(NISSAN)	51.36	97	タイガー魔法瓶	50.98
23	ユニ・チャーム(unicharm)	52.31	48	TOTO	51.71	73	東レ(TORAY)	51.33	98	東洋水産*マルちゃん他	50.98
24	ダイキン工業(DAIKIN)	52.25	49	キューピー	51.70	74	ゴールドウイン*ザ・ノース・フェイス他	51.30	99	ジョンソン・エンド・ジョンソン	50.95
25	セブン・イレブン・ジャパン(7-Eleven)	52.24	50	エステー	51.64	75	日本水産(ニッスイ)	51.30	100	住友化学	50.95

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

SDGs評価得点 2023 Ranking | TOP 100

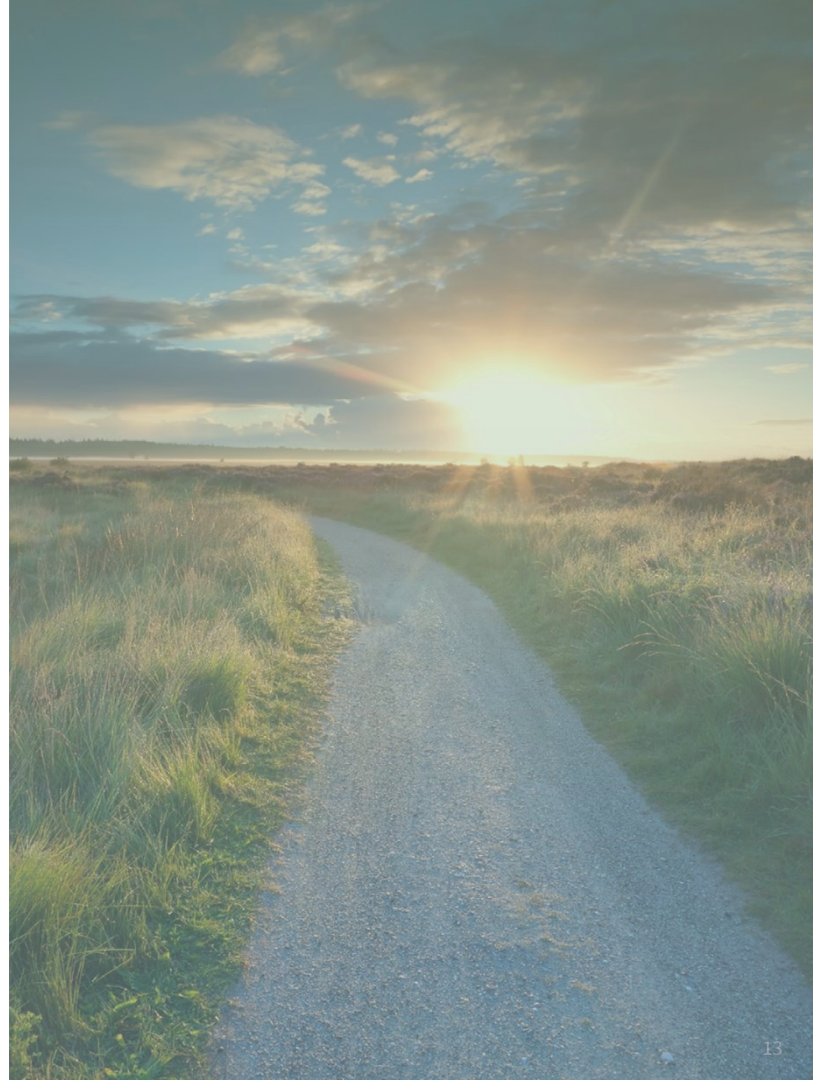


SDGs重要度×SDGs企業評価を基準化し算出

順位	企業名	評価 得点	順位	企業名	評価 得点	順位	企業名	評価 得点	順位	企業名	評価 得点
1	トヨタ自動車(TOYOTA)	54.28	26	ダスキン(DUSKIN) *衛生サービス	52.10	51	テルモ	51.51	76	キュービー	51.08
2	住友林業	54.03	27	ロート製薬(ROHTO)	52.03	52	武田薬品工業	51.51	77	東洋水産 *マルちゃん他	51.07
3	クボタ(Kubota)	53.27	28	スズキ(SUZUKI)	51.97	53	FOOD&LIFE COMPANIES *スシロー他	51.48	78	N E C (日本電気)	51.03
4	王子ネピア *ネピア他	53.26	29	ENEOS	51.97	54	日本マイクロソフト(Microsoft)	51.48	79	ヤンマー(YANMAR)	51.02
5	イオン(AEON)	53.16	30	マルハニチロ	51.93	55	商船三井	51.48	80	ノボノルディスクファーマ	51.01
6	ウォルト・ディズニー・ジャパン	53.15	31	清水建設	51.92	56	三菱重工業	51.47	81	カゴメ(KAGOME)	51.00
7	良品計画(無印良品)	53.13	32	TOTO	51.90	57	関西電力	51.47	82	花王(Kao)	50.98
8	日立製作所(HITACHI)	53.01	33	楽天グループ	51.89	58	山崎製パン	51.44	83	サラヤ	50.97
9	ファーストリテイリング *ユニクロ・GU他	52.84	34	三井化学	51.85	59	アマゾン ウェブ サービス ジャパン(AWS) *クラウド・サービス	51.41	84	小田急電鉄(odakyu)	50.96
10	東日本高速道路(NEXCO東日本)	52.80	35	コスモ石油	51.83	60	アストラゼネカ	51.38	85	日本水産(ニッスイ)	50.95
11	積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	52.80	36	大林組	51.82	61	モスフードサービス(モスバーガー)	51.36	86	村田製作所(muRata)	50.95
12	ハウス食品(House)	52.75	37	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	51.81	62	小松製作所(KOMATSU)	51.30	87	東日本電信電話(NTT東日本)	50.95
13	ヤクルト本社(Yakult)	52.75	38	森永乳業(morinaga)	51.81	63	リクシル(LIXIL)	51.28	88	雪印メグミルク	50.94
14	パナソニック(Panasonic)	52.53	39	サントリー(SUNTORY)	51.72	64	岩谷産業(Watani)	51.25	89	三菱ケミカルホールディングス	50.94
15	味の素 A G F *ブレندي他	52.48	40	大阪ガス	51.72	65	三井物産	51.23	90	日本たばこ産業(JT)	50.93
16	ユニ・チャーム(unicharm)	52.47	41	ファンケル(FANCL)	51.69	66	パタゴニア(patagonia)	51.22	91	住友化学	50.93
17	日本縦横クレンシア *クリネックス・スコッティ他	52.43	42	UR都市機構 *UR賃貸住宅	51.69	67	伊藤忠商事	51.21	92	ソニー(SONY)	50.91
18	アップルジャパン(Apple)	52.42	43	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	51.68	68	積水化学工業(SEKISUI)	51.18	93	モンベル(mont-bell)	50.89
19	セブン&アイ・ホールディングス *イトーヨーカ堂他	52.41	44	東京電力(TEPCO)	51.67	69	日揮ホールディングス	51.17	94	テスラ(Tesla)	50.88
20	東京ガス(TOKYO GAS)	52.41	45	大成建設	51.65	70	ヤマハ発動機 *輸送用機器	51.15	95	中外製薬	50.88
21	大塚製薬(Otsuka)	52.39	46	セブン・イレブン・ジャパン(7-Eleven)	51.63	71	鹿島	51.14	96	星野リゾート	50.87
22	P & G (プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	52.39	47	旭化成ホームズ(ヘーベルハウス)	51.63	72	西日本旅客鉄道(JR西日本)	51.13	97	キッコーマン	50.87
23	グーグル(googLe)	52.25	48	キリンビール(KIRIN)	51.61	73	N T T データ	51.12	98	日本マクドナルド	50.85
24	ダイキン工業(DAIKIN)	52.23	49	味の素(AJINOMOTO)	51.60	74	クラシエ	51.11	99	任天堂	50.85
25	大和ハウス工業(Daiwa House)	52.19	50	旭化成(AsahiKASEI)	51.56	75	出光昭和シェル	51.08	100	ライオン(LION)	50.81

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

II. JSBI2022調査対象企業(306社)の 昨対比較 | Top 100



JSBI 2023 Ranking Top 100

JSBI 2023 vs JSBI 2022 / SDGs貢献イメージ得点+SDGs評価得点



ファーストリテイリング(昨年29位)が3位、クボタ(Kubota・昨年23位)が5位にジャンプアップしました。得点やランキングに変動があったときこそ「好機」と捉え、その要因を分析する必要があります。

順位	前年差 (順位差)	企業名	2023 得点	2022 得点	順位	前年差 (順位差)	企業名	2023 得点	2022 得点	順位	前年差 (順位差)	企業名	2023 得点	2022 得点	順位	前年差 (順位差)	企業名	2023 得点	2022 得点
1	➡0	良品計画(無印良品)	108.54	110.09	26	▲9	ヤクルト本社(Yakult)	103.867	103.57	51	▲9	マルハニチロ	103.015	103.35	76	▲26	三菱重工業	102.099	102.99
2	➡0	トヨタ自動車(TOYOTA)	108.40	109.68	27	▲31	東日本高速道路(NEXCO東日本)	103.85	102.66	52	▲39	モンベル(mont-bell)	103.01	104.97	77	▲15	大和ハウス工業(Daiwa House)	102.09	101.92
3	▲26	ファーストリテイリング*ユニクロ・GU他	107.99	103.93	28	▲13	楽天グループ	103.85	104.82	53	▲9	テルモ	102.99	102.56	78	▲26	エーザイ(Eisai)	102.07	101.61
4	▲1	住友林業	107.42	107.18	29	▲17	グーグル(Google)	103.79	103.14	54	▲19	モスフードサービス(モスバーガー)	102.94	102.25	79	▲19	東洋水産*マルちゃん他	102.04	101.83
5	▲18	クボタ(Kubota)	107.32	104.25	30	▲6	東京ガス(TOKYO GAS)	103.77	104.21	55	▲8	商船三井	102.93	102.52	80	▲2	任天堂	102.02	102.16
6	▲5	イオン(AEON)	106.86	105.22	31	▲10	味の素(AJINOMOTO)	103.64	104.36	56	▲16	キリンビール(KIRIN)	102.91	103.43	81	▲12	中外製薬	102.00	102.35
7	▲2	味の素A G F*ブレンディ他	106.61	106.32	32	▲18	TOTO	103.62	104.83	57	▲30	ネスレ(Nestle)*ネスカフェ・キットカット他	102.85	102.05	82	▲55	日産自動車(NISSAN)	101.94	104.07
8	▲4	王子ネピア*ネピア他	106.47	106.96	33	▲15	スズキ(SUZUKI)	103.59	103.03	58	▲4	キユーピー	102.78	102.86	83	▲27	旭化成ホームズ(ハーベルハウス)	101.90	102.82
9	▲2	セブン&アイ・ホールディングス*イトーヨーカ堂他	106.41	106.06	34	▲15	武田薬品工業	103.57	103.02	59	▲40	ヤマハ発動機*輸送用機器	102.73	101.80	84	▲24	UR都市機構*UR賃貸住宅	101.88	102.65
10	➡0	ウォルト・ディズニー・ジャパン	105.32	105.35	35	▲17	キッコーマン	103.49	102.93	60	▲29	ライオン(LION)	102.65	103.81	85	▲41	住友化学	101.87	103.15
11	▲6	アップルジャパン(Apple)	105.27	104.76	36	▲1	生協(Co-op)	103.48	102.19	61	▲20	リクシル(LIXIL)	102.55	103.39	86	▲14	島津製作所	101.82	101.75
12	▲26	パナソニック(Panasonic)	105.25	103.46	37	▲3	山崎製パン	103.48	103.67	62	▲9	サハラ	102.52	102.92	87	▲27	ヤンマー(YANMAR)	101.78	101.33
13	▲3	P & G(プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	105.01	104.79	38	▲55	パタゴニア(patagonia)	103.45	101.91	63	▲4	ラッシュジャパン(LUSH)	102.51	102.66	88	▲7	日本マクドナルド	101.78	101.88
14	▲8	ハウス食品(House)	104.91	104.36	39	▲18	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	103.43	102.82	64	▲71	ソニー(SONY)	102.41	100.77	89	▲14	星野リゾート	101.76	101.66
15	▲7	ユニ・チャーム(Unicharm)	104.77	105.65	40	▲28	旭化成(AsahiKASEI)	103.41	105.06	65	▲28	全日本空輸(ANA)	102.40	103.57	90	▲46	豊田メグミルク	101.75	100.77
16	▲16	ENEOS	104.71	103.73	41	▲14	カゴメ(KAGOME)	103.41	102.85	66	▲43	大阪ガス	102.39	101.52	91	▲53	東日本電信電話(NTT東日本)	101.74	100.51
17	▲11	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	104.61	106.20	42	▲9	積水化学工業(SEKISUI)	103.31	102.94	67	▲18	日揮ホールディングス	102.33	102.10	92	▲55	カネカ(kaneka)	101.74	100.38
18	➡0	日立製作所(HITACHI)	104.59	104.59	43	➡0	岩谷産業(watani)	103.29	103.17	68	▲37	フジパングループ本社	102.25	101.54	93	▲23	コスモ石油	101.74	101.29
19	➡0	日本紙クレシア*クリネックス・スコッティ他	104.55	104.51	44	▲24	サントラー(SUNTORY)	103.20	104.46	69	▲7	日本水産(ニッスイ)	102.25	102.23	94	▲5	アマゾン ウェブ サービス ジャパン(AWS)*クラウド*	101.73	101.99
20	▲16	ダイキン工業(DAIKIN)	104.48	103.57	45	▲12	ファンケル(FANCL)	103.20	103.70	70	▲57	村田製作所(muRata)	102.19	101.01	95	▲36	帝人(TEIJIN)	101.73	100.94
21	▲12	森永乳業(morinaga)	104.36	105.62	46	▲16	アイリスオーヤマ	103.17	103.88	71	▲1	伊藤ハム	102.19	102.27	96	▲26	三菱ケミカルホールディングス	101.71	101.22
22	▲4	ダスキン(DUSKIN)*衛生サービス	104.28	104.12	47	▲70	小松製作所(KOMATSU)	103.16	101.28	72	▲7	Loop(Loopでんき)	102.12	102.15	97	▲29	ジョンソン・エンド・ジョンソン	101.71	102.38
23	▲42	積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	104.04	102.50	48	▲76	コクヨ(KOKUYO)	103.14	101.17	73	▲48	西日本旅客鉄道(JR西日本)	102.11	104.16	98	▲27	大成建設	101.69	102.28
24	▲4	大塚製薬(Otsuka)	103.89	104.03	49	▲10	花王(Kao)	103.11	103.45	74	▲58	江崎グリコ	102.10	100.92	99	▲8	三井物産	101.69	101.96
25	▲71	セブン・イレブン・ジャパン(7-Eleven)	103.88	101.86	50	▲63	ロート製薬(ROHTO)	103.08	101.39	75	▲22	イケア(IKEA)	102.10	101.85	100	▲30	テスラ(Tesla)	101.67	102.33

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

SDGs貢献イメージ得点| Top 100

JSBI SDGs貢献イメージ得点 2023 vs 2022 / SDGs貢献度を基準化し算出



良品計画(無印良品)が2年連続で首位をキープしています。
ファーストリテイリング(前回調査比2.60点UP)、クボタ(同1.86点UP)の伸びにも注目。

順位	前年差 (順位差)	企業名	2023 得点	2022 得点	順位	前年差 (順位差)	企業名	2023 得点	2022 得点	順位	前年差 (順位差)	企業名	2023 得点	2022 得点	順位	前年差 (順位差)	企業名	2023 得点	2022 得点
1	0	良品計画(無印良品)	55.41	56.75	26	▲11	ネスレ(Nestle)*ネスカフェ・キットカット他	52.19	52.00	51	▲13	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	51.62	51.99	76	▲58	エーザイ(Eisai)	51.27	50.44
2	▲14	ファーストリテイリング*ユニクロ・GU他	55.15	52.55	27	▲2	ダスキン(DUSKIN)*衛生サービス	52.18	52.31	52	▲21	スズキ(SUZUKI)	51.62	52.14	77	▲6	象印ホービン	51.27	51.33
3	▲3	味の素A G F*ブレンディ他	54.13	53.47	28	▲6	ウォルト・ディズニーマ・ジャパン	52.17	52.38	53	▲43	ヤマハ発動機*輸送用機器	51.58	50.91	78	▲3	リクシル(LIXIL)	51.26	51.17
4	▲2	トヨタ自動車(TOYOTA)	54.12	55.33	29	▲7	ハウス食品(House)	52.16	52.01	54	▲21	日立製作所(HITACHI)	51.58	52.03	79	▲43	村田製作所(muRata)	51.25	50.53
5	▲23	クボタ(Kubota)	54.05	52.19	30	▲14	花王(Kao)	52.13	51.86	55	▲28	モスフードサービス(モスバーガー)	51.57	52.19	80	▲74	積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	51.24	50.11
6	▲4	セブン&アイ・ホールディングス*イトーヨーカ堂他	54.00	53.06	31	▲23	積水化学工業(SEKISUI)	52.13	51.75	56	▲41	Loopo(Loopoでんき)	51.56	50.90	81	▲12	凸版印刷	51.21	50.96
7	▲13	イオン(AEON)	53.71	52.44	32	▲14	日本製紙クレシア*クリネックス・スコッティ他	52.13	51.84	57	▲21	日本製紙	51.55	51.24	82	▲19	ダイワツ工業(Daihatsumi)	51.18	51.60
8	▲3	住友林業	53.38	53.71	33	▲24	モンベル(mont-bell)	52.11	53.06	58	▲18	サザヤ	51.55	51.92	83	▲2	任天堂	51.18	51.13
9	▲5	王子ネピア*ネピア他	53.21	53.79	34	▲14	武田薬品工業	52.06	51.83	59	▲5	グーグル(google)	51.55	51.57	84	▲10	日揮ホールディングス	51.17	50.93
10	▲7	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	52.93	53.92	35	▲23	味の素(AJINOMOTO)	52.04	52.88	60	▲48	帝人(TEIJIN)	51.52	50.79	85	▲21	中外製薬	51.12	50.81
11	▲62	ココロ(KOKUYO)	52.90	51.31	36	▲18	岩谷産業(Iwatani)	52.04	52.51	61	▲2	ファンケル(FANCL)	51.51	51.66	86	▲4	ヤクルト本社(Yakult)	51.12	51.04
12	▲5	アップルジャパン(Apple)	52.84	52.52	37	▲8	山崎製パン	52.04	52.19	62	▲38	ソニー(SONY)	51.50	50.88	87	▲63	スバル(SUBARU)	51.10	52.32
13	▲26	ENEOS	52.75	51.95	38	▲25	楽天グループ	51.96	52.79	63	▲3	大塚製薬(Otsuka)	51.50	51.64	88	▲16	マルハニチロ	51.09	51.31
14	▲6	アイリスオーヤマ	52.73	53.14	39	▲77	江崎グリコ	51.94	50.65	64	▲63	グンゼ(GUNZE)	51.49	50.48	89	▲41	東日本高速道路(NEXCO東日本)	51.05	50.46
15	▲41	パナソニック(Panasonic)	52.73	51.72	40	▲11	ラッシュジャパン(LUSH)	51.90	51.80	65	▲4	テルモ	51.48	51.42	90	▲27	ロート製薬(ROHTO)	51.05	50.62
16	▲54	生協(Co-op)	52.67	51.41	41	▲16	イケア(IKEA)	51.87	51.67	66	▲47	サントリ(SUNTORY)	51.48	52.46	91	▲84	カネカ(kaneka)	51.03	49.83
17	▲9	キョーマン	52.62	52.30	42	▲50	フジパングループ本社	51.87	50.99	67	▲1	商船三井	51.46	51.47	92	▲84	コニカミルタ	51.01	49.80
18	▲5	P & G(プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	52.62	52.37	43	▲33	小松製作所(KOMATSU)	51.86	51.26	68	▲16	島津製作所	51.44	51.15	93	▲27	サンスター	51.01	50.59
19	▲12	森永乳業(morinaga)	52.55	53.21	44	▲14	旭化成(AsahiKASEI)	51.85	52.17	69	▲24	東京ガス(TOKYO GAS)	51.37	51.85	94	▲59	西日本旅客鉄道(JR西日本)	50.99	52.02
20	▲45	ブックオフコーポレーション	52.47	51.54	45	▲17	伊藤ハム	51.84	51.60	70	▲56	日産自動車(NISSAN)	51.36	52.76	95	▲6	タイガー魔法瓶	50.98	51.04
21	▲32	カゴメ(KAGOME)	52.41	51.75	46	▲31	ライオン(LION)	51.83	52.61	71	▲15	東レ(TORAY)	51.33	51.13	96	▲21	東洋水産*マルちゃん他	50.98	51.27
22	▲11	ユニ・チャーム(unicharm)	52.31	52.99	47	▲26	TOTO	51.71	52.41	72	▲11	ゴールドウイン*ザ・ノース・フェイス他	51.30	51.15	97	▲1	ジョンソン・エンド・ジョンソン	50.95	50.90
23	▲20	ダイキン工業(DAIKIN)	52.25	51.88	48	▲4	キユーピー	51.70	51.77	73	▲45	日本水産(ニッスイ)	51.30	50.60	98	▲7	住友化学	50.95	51.00
24	▲63	セブン・イレブン・ジャパン(7-Eleven)	52.24	51.13	49	▲8	エステー	51.64	51.90	74	▲16	キリンビール(KIRIN)	51.30	51.67	99	▲52	日本コカ・コーラ	50.93	51.84
25	▲25	パタゴニア(patagonia)	52.22	51.82	50	▲18	全日本空輸(ANA)	51.63	52.09	75	▲41	ワークマン(WORKMAN)	51.29	52.03	100	▲5	日本マクドナルド	50.93	50.82

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

SDGs評価得点 | Top 100

JSBI 評価得点 2023 vs 2022 / SDGs重要度×SDGs企業評価を基準化し算出



トヨタ自動車(TOYOTA)は、本調査開始以来首位を独走中。住友林業も2年連続2位。
「SDGs貢献イメージ得点」と比べると、高価格で購買頻度の比較的低い財を扱うBtoC企業やBtoB企業の名前が多く見られます。

順位	前年差 (順位差)	企業名	2023 得点	2022 得点	順位	前年差 (順位差)	企業名	2023 得点	2022 得点	順位	前年差 (順位差)	企業名	2023 得点	2022 得点	順位	前年差 (順位差)	企業名	2023 得点	2022 得点
1	→	トヨタ自動車(TOYOTA)	54.28	54.35	1	▲15	ダスキン(DUSKIN)*衛生サービス	52.10	51.81	1	▲21	武田薬品工業	51.51	51.19	1	▲74	N E C(日本電電)	51.03	50.57
2	0	住友林業	54.03	53.46	2	▲68	ロート製薬(ROHTO)	52.03	50.77	2	▲14	日本マイクロソフト(Microsoft)	51.48	51.26	2	▲7	ヤンマー(YANMAR)	51.02	50.50
3	▲28	クボタ(Kubota)	53.27	52.07	3	▲61	スズキ(SUZUKI)	51.97	50.89	3	▲30	豊船三井	51.48	51.05	3	▲16	ノボルディスクファーマ	51.01	50.56
4	0	王子ネピア*ネピア他	53.26	53.17	4	▲13	ENEOS	51.97	51.78	4	▲8	三菱重工業	51.47	51.69	4	▲32	カゴメ(KAGOME)	51.00	51.10
5	▲4	イオン(AEON)	53.16	52.78	5	▲4	マルハニチロ	51.93	52.04	5	▲19	関西電力	51.47	51.99	5	▲14	花王(kao)	50.98	51.59
6	0	ウォルト・ティズニー・ジャパン	53.15	52.97	6	▲47	清水建設	51.92	51.12	6	▲2	山崎製パン	51.44	51.49	6	▲18	サラヤ	50.97	50.99
7	▲4	良品計画(無印良品)	53.13	53.34	7	▲18	TOTO	51.90	52.42	7	▲12	アマゾン ソエノ サービス シヤハン(AWS)* シソフト・ サードパーティ	51.41	51.70	7	▲38	小田急電鉄(odakyu)	50.96	50.60
8	▲4	日立製作所(HITACHI)	53.01	52.55	8	0	楽天グループ	51.89	52.04	8	▲5	アストラゼネカ	51.38	51.31	8	▲45	日本水産(ニッスイ)	50.95	51.63
9	▲50	ファーストリテイリング*ユニクロ・GU他	52.84	51.38	9	▲26	コスモ石油	51.83	51.33	9	▲96	モスフードサービス(モスバーガー)	51.36	50.06	9	▲43	村田製作所(muRata)	50.95	50.49
10	▲15	東日本高速道路(NEXCO東日本)	52.80	52.20	10	▲5	大林組	51.82	52.07	10	▲101	小松製作所(KOMATSU)	51.30	50.02	10	▲26	東日本電信電話(NTT東日本)	50.95	50.06
11	7	積水ハウス(SEKISUIHOUSE)	52.80	52.38	11	▲56	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	51.81	50.83	11	▲37	リクシル(LIXIL)	51.28	52.21	11	▲15	雪印メグミルク	50.94	50.17
12	8	ハウス食品(House)	52.75	52.35	12	▲21	森永乳業(morinaga)	51.81	52.41	12	▲42	岩谷産業(iwatani)	51.25	50.66	12	▲10	三菱ケミカルホールディングス	50.94	50.32
13	0	ヤクルト本社(Yakult)	52.75	52.53	13	▲3	サントリー(SUNTORY)	51.72	52.00	13	▲2	三井物産	51.23	51.27	13	▲47	日本たばこ産業(JT)	50.93	50.02
14	▲30	パナソニック(Panasonic)	52.53	51.74	14	▲38	大阪ガス	51.72	51.13	14	▲86	パタゴニア(patagonia)	51.22	50.10	14	▲7	住友化学	50.93	52.14
15	▲7	味の素 A G F*ブレンド他	52.48	52.85	15	▲8	ファンケル(FANCL)	51.69	52.04	15	▲3	伊藤忠商事	51.21	51.22	15	▲38	ソニー(SONY)	50.91	49.89
16	▲7	ユニ・チャーム(unicharm)	52.47	52.65	16	▲19	UR都市機構*UR賃貸住宅	51.69	52.25	16	7	積水化学工業(SEKISUI)	51.18	51.19	16	▲24	モンベル(moncler)	50.89	51.91
17	▲7	日本製紙クレシア*リネックス・スコッティ他	52.43	52.66	17	▲21	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	51.68	52.28	17	7	日揮ホールディングス	51.17	51.17	17	▲58	テスラ(Tesla)	50.88	50.52
18	▲5	アップルジャパン(Apple)	52.42	52.24	18	▲4	東京電力(TEPCO)	51.67	51.82	18	▲20	ヤマハ発動機*輸送用機器	51.15	50.90	18	▲21	中外製薬	50.88	51.53
19	▲14	セブン&アイ・ホールディングス*イトーヨーカ堂他	52.41	52.99	19	▲15	大成建設	51.65	52.10	19	▲19	豊島	51.14	51.59	19	▲20	星野リゾート	50.87	50.49
20	▲1	東京ガス(TOKYO GAS)	52.41	52.36	20	▲53	セブン-イレブン・ジャパン(7-Eleven)	51.63	50.73	20	▲43	西日本旅客鉄道(JR西日本)	51.13	52.15	20	▲9	キッコーマン	50.87	50.64
21	▲4	大塚製薬(Otsuka)	52.39	52.39	21	▲20	旭化成ホームズ(ヘーベルハウス)	51.63	52.15	21	▲31	N T データ	51.12	51.81	21	▲5	日本マシナド	50.85	51.06
22	▲7	P & G(プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	52.39	52.42	22	▲4	キリンビール(KIRIN)	51.61	51.76	22	▲1	クラシエ	51.11	51.20	22	▲2	任天堂	50.85	51.03
23	▲29	グーグル(google)	52.25	51.57	23	▲7	味の素(AJINOMOTO)	51.60	51.48	23	▲65	出光昭和シェル	51.08	50.27	23	▲31	ライオン(LIION)	50.81	51.20
24	▲23	ダイキン工業(DAIKIN)	52.23	51.69	24	▲42	旭化成(AsahiKASEI)	51.56	52.88	24	▲6	キユーピー	51.08	51.10	24	▲54	生協(Co-op)	50.80	50.78
25	▲23	大和ハウス工業(Daiwa House)	52.19	51.65	25	▲26	テルモ	51.51	51.14	25	▲37	東洋水産*マルちゃん他	51.07	50.56	25	▲9	ユー・エス・ジェイ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)	50.80	50.46

※同得点の場合は、小数第3位を比較してランキングへ反映しています。

III. 「SDGs貢献イメージ得点」と 「SDGs評価得点」



「SDGs貢献イメージ得点」と「SDGs評価得点」の比較

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

「SDGs貢献イメージ得点」 > 「SDGs評価得点」

生活者からSDGsの総合的なイメージは強く認められています。

一方で、残念ながら具体的な活動内容が知られていない可能性があります。

SDGsの具体的実践を伝えていく工夫が重要になります。

「SDGs評価得点」 > 「SDGs貢献イメージ得点」

SDGs17目標の個別評価が高く、具体的なサステナビリティ活動を生活者に認知してもらえています。

一方で、残念ながら総合的なイメージが弱い傾向があります。

サステナブル・マーケティングやサステナブル・コミュニケーションが重要になります。

「SDGs貢献イメージ得点」と「SDGs評価得点」の比較

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

「SDGs貢献イメージ得点」 > 「SDGs評価得点」

順位	企業名	得点差	JSBI 2023
1	ブックオフコーポレーション	4.32	100.62
2	コクヨ(KOKUYO)	2.66	103.14
3	ファーストリテイリング*ユニクロ・GU他	2.31	107.99
4	良品計画(無印良品)	2.28	108.54
5	アイリスオーヤマ	2.28	103.17
6	タイガー魔法瓶	2.15	99.82
7	三井化学	2.06	105.76
8	日本製紙	1.98	101.13
9	リコー(RICOH)	1.98	98.37
10	コニカミノルタ	1.91	100.12

SDGsの具体的実践を伝えていく工夫が重要になります。

「SDGs評価得点」 > 「SDGs貢献イメージ得点」

順位	企業名	得点差	JSBI 2023
1	日本放送協会(NHK)	4.71	93.97
2	東京電力(TEPCO)	4.10	99.24
3	大林組	3.55	100.09
4	電通	3.50	91.64
5	清水建設	3.43	100.40
6	ワタミグループ*和民・ワタミの宅食他	3.13	97.20
7	ソフトバンク(SoftBank)	3.11	95.59
8	関西電力	2.75	100.19
9	鹿島	2.63	99.65
10	学研ホールディングス(Gakken)	2.56	98.78

サステナブル・マーケティングやサステナブル・コミュニケーションが重要になります。

IV. 業種別順位とその傾向



JSBI 2023 業種別順位とその傾向

分析対象の312社を19の業種に分類し、各業種の特徴を分析

業界 順位	前年差 (順位差)	業界	社数	JSBI2023 平均得点
1	↑ 1	薬品・医療用品	12	102.08
2	↑ 1	食品	21	101.95
3	↑ 1	エネルギー	11	101.73
4	↑ 1	家電・AV機器	12	101.71
5	↓▲ 4	化粧品・トイレタリー	18	101.53
6	↑ 1	素材・化学・機械	26	101.28
7	↓▲ 1	不動産・建設・住宅設備	19	100.87
8	⇒ 0	流通・小売業	23	100.76
9	⇒ 0	飲料・嗜好品	15	100.32
10	⇒ 0	ファッション・アクセサリ	18	100.13
11	↑ 2	外食・各種サービス	13	100.13
12	↓▲ 1	自動車・関連品	18	99.66
13	↓▲ 1	精密機器・事務用品	18	99.61
14	⇒ 0	IT・情報・通信	17	99.02
15	⇒ 0	運輸・交通・レジャー	25	98.76
16	⇒ 0	専門サービス	6	98.32
17	⇒ 0	出版+教育、広告、印刷	7	97.47
18	⇒ 0	放送・エンターテインメント	12	97.22
19	⇒ 0	金融・保険	21	95.86



薬品・医療用品、食品、エネルギー、家電・AV機器が1ランクずつアップした一方で、前回首位であった化粧品・トイレタリーは4ランクダウンしました。金融・保険、放送・エンターテインメントは調査始まって以来下位に位置づけられています。その他の業種のランキングも大きな変動なく定着しつつあるといえます。

JSBI 評価の高い業種

薬品・医療用品

この業種に該当する12社のうち11社がJSBI得点で100点以上を獲得しています。業種内ギャップの値も小さく、業種内でのバラツキが少ないことが分かります。一昨年1位、昨年2位と、この業種は常に高い評価を得ています。

食品

この業種の21社のうち17社がJSBI得点で100点以上を獲得し、2位にランクアップしました。該当する企業数が多いに関わらず業種内ギャップは6.66と低めであり、この業種の企業は概ね評価が高いといえます。

JSBI 評価の低い業種

金融・保険

この業種には今回もJSBI得点が100点に達した企業はなく、今年もSDGs評価得点・SDGs貢献イメージ得点・JSBI得点のすべてにおいて、全業種の中で最下位となりました。

放送・エンターテインメント

12社のうちJSBI得点が100点を超えたのは昨年と同じ顔触れの3社にとどまりました。下位20%に相当する250位以降となった企業が8社、その8社のうち3社は300位以降となり、平均値を押し下げてしまいました。

業種別の傾向 × 「SDGs貢献イメージ得点」 vs. 「SDGs評価得点」

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

業種	得点差	企業数	SDGs貢献イメージ得点 平均得点		SDGs評価得点 平均得点	JSBI2023 平均得点
流通・小売業	0.80	23	50.78	>	49.98	100.76
精密機器・事務用品	0.78	18	50.19	>	49.42	99.61
食品	0.50	21	51.22	>	50.72	101.95
ファッション・アクセサリ	0.45	18	50.29	≒	49.84	100.13
家電・AV機器	0.42	12	51.07	≒	50.65	101.71
素材・化学・機械	0.42	26	50.85	≒	50.43	101.28
化粧品・トイレットリー	0.35	18	50.94	≒	50.59	101.53
自動車・関連品	0.12	18	49.89	≒	49.77	99.66
飲料・嗜好品	0.05	15	50.18	≒	50.13	100.32
運輸・交通・レジャー	0.02	25	49.37	≒	49.39	98.76
外食・各種サービス	0.07	13	50.03	≒	50.10	100.13
薬品・医療用品	0.26	12	50.91	≒	51.17	102.08
金融・保険	0.38	21	47.74	≒	48.12	95.86
専門サービス	0.49	6	48.92	≒	49.40	98.32
IT・情報・通信	0.59	17	49.22	<	49.81	99.02
エネルギー	0.82	11	50.46	<	51.27	101.73
放送・エンターテイメント	1.02	12	48.10	<	49.12	97.22
出版+教育、広告、印刷	1.11	7	48.18	≪	49.29	97.47
不動産・建設・住宅設備	1.16	19	49.86	≪	51.01	100.87

イメージ
優位

バランス

評価優位

イメージ優位 「SDGs評価得点」より「SDGs貢献イメージ得点」が高い業種

流通・小売業、食品

生活者の生活の場面に近い小売店頭やCM、パブリシティなどでサステナビリティのイメージが形成されていると思われます。流通・小売業では前回調査では50点を上回っていたSDGs評価得点は低下してしまいました。価格訴求型コミュニケーションだけでいいのでしょうか。この改善が今後の取り組み課題といえるでしょう。

精密機器・事務用品

昨年と同様にSDGs評価得点が50点より低いため、JSBIが100点を切ってしまいました。この改善こそがこの業種の向上ポイントとなり得ます。

評価優位 「SDGs貢献イメージ得点」より「SDGs評価得点」が高い業種

不動産・建設・住宅設備、エネルギー

業種としてのSDGs評価は3位、SDGs貢献イメージは7位の水準です。サステナブル・マーケティングやサステナブル・コミュニケーションに注力し、イメージの向上に努めることが重要です。

放送・エンターテイメント 出版+教育、広告、印刷、IT・情報・通信

SDGs貢献イメージ得点も低く、JSBIが100点を切っています。抜本的な改善策の策定と実行が望まれます。

JSBI定型レポートでは業種・自社の状況や特性を分析も可能です。

※ ≪≫：得点差1.5pt.以上 <>：得点差0.5pt.~1.5pt. ≒：得点差0.5pt.以下

V. 業種内ランキング

薬品・医療用品 >>>

食品 >>>

エネルギー >>>

家電・AV機器 >>>

化粧品・トイレットリー >>>

素材・化学・機械 >>>

不動産・建設・住宅設備 >>>

流通・小売業 >>>

飲料・嗜好品 >>>

ファッション・アクセサリ >>>

外食・各種サービス >>>

自動車・関連品 >>>

精密機器・事務用品 >>>

IT・情報・通信 >>>

運輸・交通・レジャー >>>

専門サービス >>>

出版+教育、広告、印刷 >>>

放送・エンターテイメント >>>

金融・保険 >>>

業種内ランキングとその傾向 -1 | 薬品・医療用品 & 食品



JSBI: Japan Sustainable Brands Index

1位：薬品・医療用品 (12社)

今回の調査では、業種としてのJSBI平均値が102.08点となり、昨年から1ランクアップして19業種の中で最高位という結果になりました。また、前回に引き続き、この業種の12社のうち11社においてJSBI得点が100点を超えています。さらにこの業種の2/3に相当する8社がJSBI得点において100位以内にランキングしました。

業種内ギャップの値は6.26と全業種の中で4番目に低く、業種内にバラツキがないことが示されました。昨年度（7.90）と比べて業種内ギャップの値が小さくなっており、この業種内の企業の差が小さくなっていることが分かります。

また、SDGs評価得点（51.17点）は全体の2位、SDGs貢献イメージ得点（50.91点）は全体の4位と、バランスが取れた業種でもあります。

本調査の開始以来、安定的に高い評価を得続けている業種です。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	ユニ・チャーム(unicharm)	104.77	16	8
2	大塚製薬(Otsuka)	103.89	25	28
3	武田薬品工業	103.57	35	49
4	ロート製薬(ROHTO)	103.08	51	113
5	テルモ	102.99	54	62
平均値		102.08		
最高値		104.77	16	8
最低値		98.51	216	216
業種内ギャップ（最高値-最低値）		6.26		

2位：食品 (21社)

前回調査に引き続き、21社のうち17社がJSBI得点で100点を獲得しました。業種としてのJSBI得点平均値も101.95点（昨年101.93点）となり、昨年から2ランクアップとなる全体として2番目の水準でした。

この業種に該当する企業が21社もある中で、業種内ギャップの値は6.66と全業種で5番目に低く、業種内でのバラツキは大きくないといえます。また、昨年は8.97（全体で12番目の水準）あった業種内ギャップが2.31ポイント小さくなっています。

SDGs評価得点は50.72点（昨年50.71点）、SDGs貢献イメージ得点は51.22点（昨年51.22点）と大きな変化はありませんでした。前回に引き続き、SDGs貢献イメージ得点の方が相対的に高いという傾向が続いています。

得点や順位に微変動はありますが、この業種の企業の多くが高い評価を受けています。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	ハウス食品(House)	104.91	15	22
2	森永乳業(morinaga)	104.36	22	9
3	ヤクルト本社(Yakult)	103.87	27	35
4	味の素(AJINOMOTO)	103.64	32	21
5	キッコーマン	103.49	36	52
平均値		101.95		
最高値		104.91	15	9
最低値		98.25	231	258
業種内ギャップ（最高値-最低値）		6.66		

業種内ランキングとその傾向 -2 | エネルギー & 家電・A V機器



JSBI : Japan Sustainable Brands Index

3位：エネルギー (11社)

対象となる11社のうち、10社が100点以上を獲得し、業種としてのJSBIの平均値は101.73点（前回101.73点）となりました。これは全業種の中で3番目の水準で、前回より1ランクアップしました。

業種内ギャップは全業種の中で2番目に低い5.47でしたが、前回（4.24）と比べると値が僅かながら大きくなっています。

SDGs評価得点の業種平均値は51.27点で、一昨年・昨年に引き続き全業種のトップでした。一方、SDGs貢献イメージ得点は50.46点と昨年同様全業種中7位となりました。

昨年と比較して、業種としての順位が1ランクアップ、SDGs評価得点およびSDGs貢献イメージ得点の順位は変化がないことから、この業種の企業の多くが、安定的に高い評価を得続けているといえます。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	ENEOS	104.71	17	32
2	東京ガス(TOKYO GAS)	103.77	31	24
3	岩谷産業(Iwatani)	103.29	44	43
4	大阪ガス	102.39	68	109
5	Loop(Loopでんき)	102.12	74	79
平均値		101.73		
最高値		104.71	17	24
最低値		99.24	189	159
業種内ギャップ（最高値-最低値）		5.47		

4位：家電・A V機器 (12社)

昨年と同様に、今回も12社中9社のJSBI得点が100点を超えました。業種としてのJSBI得点平均値は101.71点（昨年101.35点）を獲得し、昨年より1ランクアップして全体の4番目の水準です。

業種内ギャップの値が5.76と、全体で3番目に低いという結果になりました。一昨年・昨年に引き続き、この業種のすべての企業が200位以上にランキングしました。JSBIの高い業種であるといえます。

前回調査と比べた場合、業種全体の傾向には大きな変化が見られないものの、個別の企業について経年比較すると、昨年とは約70ランク程度の順位変化が見られた企業がある等、評価に変化のあった状況が見受けられました。良くも悪くも大きな変動が見られた企業は、その理由を分析し、必要に応じて対応策を検討することが必要でしょう。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	パナソニック(Panasonic)	105.25	13	38
2	日立製作所(HITACHI)	104.59	19	18
3	ダイキン工業(DAIKIN)	104.48	21	36
4	アイリスオーヤマ	103.17	47	30
5	ソニー(SONY)	102.41	66	135
平均値		101.71		
最高値		105.25	13	18
最低値		99.49	181	181
業種内ギャップ（最高値-最低値）		5.76		

業種内ランキングとその傾向 -3 | 化粧品・トイレタリー & 素材・化学・機械



JSBI : Japan Sustainable Brands Index

5位：化粧品・トイレタリー (18社)

18社中13社のJSBI得点が100点を超え、JSBI得点の平均値は101.53点と高い水準ではありますが、前回(102.13点)と比較すると4ランクダウンして、全体で5番目の水準という結果になりました。4ランクダウンに注目してしまうとこの業種が下降傾向にあるように見えてしまうかもしれませんが、得点が著しく下がっているわけではありません。一昨年は3位、昨年は1位と常に高位にランキングし続けていますので、業種の平均値に一喜一憂する必要はありません。

また、SDGs貢献イメージ得点平均値は50.94点(前回51.29点)と全業種において3番目、SDGs評価得点の平均値は50.59点(前回50.84点)と全業種において6番目になりました。今回も、化粧品業界に比べてトイレタリー業界の企業のJSBI評価が相対的に高いという傾向が見られました。化粧品業界の企業の今後の伸びしろに期待します。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	王子ネピア*ネピア他	106.47	8	4
2	P&G(プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	105.01	14	16
3	日本製紙クレシア*クリネックス・スコッティ他	104.55	20	19
4	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)	103.43	40	57
5	ファンケル(FANCL)	103.20	46	33
平均値		101.53		
最高値		106.47	8	4
最低値		96.73	263	204
業種内ギャップ(最高値-最低値)		9.74		

6位：素材・化学・機械 (26社)

この業種の企業26社中14社がJSBIの得点ランキングで100位以内、さらにそのうちの5社が50位以内に入りました。また、この業種の3/4以上である20社がJSBI得点で100点以上を獲得しました。業種としてのJSBI得点平均値は、101.28点で、前回(101.05点)から1ランクアップして全業種で6位です。

消費者の生活から離れたBtoBの企業が集う業種でありながら、一昨年は5位、昨年は7位と比較的高い水準の平均値を獲得し続けており、堅調であるといえるでしょう。しかしながら、個別の企業を見てみると、前回調査と比べて70ランク近く順位が変動した企業等、変化の兆しが見受けられました。微々たるランキングの変化に目を奪われる必要はありませんが、比較的大きな変動があった場合には、業種・業界の特性を踏まえ、競合他社の動向に目を配りつつ、要因を探ってください。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	クボタ(Kubota)	107.32	5	23
2	三井化学	105.76	10	-
3	旭化成(AsahiKASEI)	103.41	41	12
4	積水化学工業(SEKISUI)	103.31	43	51
5	小松製作所(KOMATSU)	103.16	48	117
平均値		101.28		
最高値		107.32	5	12
最低値		95.41	291	296
業種内ギャップ(最高値-最低値)		11.91		

業種内ランキングとその傾向 -4 | 不動産・建設・住宅設備 & 流通・小売業



JSBI : Japan Sustainable Brands Index

7位：不動産・建設・住宅設備

(19社)

この業種からは19社のうち12社がJSBI得点で100点以上を獲得しました。業種としてのJSBI得点平均値は100.87点で前回調査（101.10点）より1ランク下がって7位となりました。業種内ギャップの値が12.10と5番目に数値が高く、業種内に評価のバラツキがあることが示されました。

これまでの調査と同様に今回も、住宅設備業界は総じて高い評価を得た一方で、デベロッパーや不動産業界の評価は芳しくないという傾向が見られました。

また、昨年に引き続き、19社中17の企業において、SDGs貢献イメージ得点よりもSDGs評価得点の方が高く、全業種の中でもこの傾向が最も顕著にみられました。具体的なサステナビリティ活動を消費者に認知してもらえているので、今後はSDGsの総合的なイメージアップを目指し、サステナブル・マーケティングやサステナブル・コミュニケーションに注力するとよいでしょう。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	住友林業	107.42	4	3
2	積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	104.04	24	65
3	TOTO	103.62	33	14
4	リクシル(LIXIL)	102.55	63	41
5	大和ハウス工業(Daiwa House)	102.09	79	92
平均値		100.87		
最高値		107.42	4	3
最低値		95.32	293	283
業種内ギャップ（最高値-最低値）		12.10		

8位：流通・小売業

(23社)

23社中13社がJSBI得点100点以上を獲得しました。業種としてのJSBI得点平均値は、100.76点で、昨年（100.81点）と同様に全業種で8位に位置づけました。

昨年に引き続きJSBIランキングでトップとなった良品計画（無印良品）をはじめとして、同企業を含む3社が10位以内に、5社が30位以内にランクインしています。

今回の調査で大躍進を果たしたのは、セブン・イレブン・ジャパンで、前回（96位）から70ランクアップの26位につけました。

この業種に該当する企業の数が23社と多いこともありますが、業種内ギャップは14.58と全業種の中で最も大きい値を示しています。

全業種の中で、SDGs評価得点よりもSDGs貢献イメージ得点の方が高いという傾向が最も顕著にみられることが特徴です。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	良品計画(無印良品)	108.54	1	1
2	イオン(AEON)	106.86	6	11
3	セブン&アイ・ホールディングス *イトーヨーカ堂他	106.41	9	7
4	セブン・イレブン・ジャパン(7-Eleven)	103.88	26	96
5	楽天グループ	103.85	29	15
平均値		100.76		
最高値		108.54	1	1
最低値		93.96	303	299
業種内ギャップ（最高値-最低値）		14.58		

業種内ランキングとその傾向 -5 | 飲料・嗜好品 & ファッション・アクセサリー



JSBI : Japan Sustainable Brands Index

9位：飲料・嗜好品

(15社)

15社中7社がJSBI得点で100点を超えました。業種のJSBI得点平均値は100.32点（昨年100.34点）で全業種内9位であり、昨年と比べて大きな変動はありません。

業種としての平均値を見ると、昨年度の調査とあまり変化がないように見えますが、個別の企業を見ると、大きな変化がありました。これまでの調査においてはソフトドリンクを扱う企業は相対的に高め、たばこのような嗜好品を扱う企業は評価が芳しくないという傾向がありました。しかしながら、今回の調査ではソフトドリンクのイメージの強い企業のJSBI順位が100ランク近くも低下したり、たばこのイメージの強い企業の順位が70位近くも上昇したりという激変が見られました。

身近な消費財を扱っているため、企業の動向がダイレクトに伝わり易い業種であると推測されますので、変化には柔軟かつ迅速に対応することが望まれます。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	味の素 A G F *ブレندي他	106.61	7	5
2	サントリー(SUNTORY)	103.20	45	20
3	キリンビール(KIRIN)	102.91	57	40
4	ネスレ(Nestle)*ネスカフェ・キットカット他	102.85	59	87
5	雪印メグミルク	101.75	92	136
平均値		100.32		
最高値		106.61	7	5
最低値		96.21	274	257
業種内ギャップ（最高値-最低値）		10.40		

10位：ファッション・アクセサリー

(18社)

18社中9社がJSBI得点で100点以上を獲得しました。業種のJSBI得点平均値は100.13となり、前回（100.03）と同様に全業種の中で10位とちょうど真ん中にランキングされました。

これまでの調査で評価の高かったアウトドア系のファッションブランドを押さえ、ファーストリテイリングが躍進し、業種内トップ、全体で3位となったことが今回の調査における注目ポイントのひとつです。JSBI得点においては、前回調査より60位もランクアップした次点の企業に対し4.54点もの差をつけて引き離しています。

前回調査と同様に、この業種の11社の企業において、SDGs評価得点よりもSDGs貢献イメージ得点が高という結果が示されました。また、業種内の上位7社にもこの傾向が見られます。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	ファーストリテイリング*ユニクロ・GU他	107.99	3	29
2	パタゴニア(patagonia)	103.45	39	93
3	モンベル(mont-bell)	103.01	53	13
4	ワークマン(WORKMAN)	101.42	108	90
5	ゴールドウイン*ザ・ノース・フェイス他	101.40	110	111
平均値		100.13		
最高値		107.99	3	13
最低値		95.61	288	288
業種内ギャップ（最高値-最低値）		12.38		

業種内ランキングとその傾向 -6 | 外食・各種サービス & 自動車・関連品



JSBI : Japan Sustainable Brands Index

11位：外食・各種サービス (13社)

この業種の13社のうち、5社がJSBI得点で100点を獲得し、全体順位でも100位以内に入りました。業種としてのJSBI得点の平均値（100.13点）の順位は昨年（99.54点）より2ランクアップして11位です。

前回調査と比較してJSBI順位30位以上変動した企業は1社もありませんでした。個別企業の得点や順位に多少の変動はありながらも、業種としては、一昨年14位、昨年13位、今年11位と着実にランクアップを続けています。また、業種内ギャップは8.93と、該当する企業数が少ないことを考えると決して小さい値とは言わないまでも、前回調査（11.74）と比べるとバラツキが小さくなってきています。

いずれも名前のよく知られた企業であるだけに、各社の動きは消費者に響くことでしょう。各社の次の一手に注目したいところです。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	104.61	18	6
2	ダスキン(DUSKIN) *衛生サービス	104.28	23	26
3	モスフードサービス(モスバーガー)	102.94	55	73
4	FOOD&LIFE COMPANIES *スシロー他	102.90	58	-
5	日本マクドナルド	101.78	90	95
平均値		100.13		
最高値		104.61	18	6
最低値		95.68	286	291
業種内ギャップ（最高値-最低値）		8.93		

12位：自動車・関連品 (18社)

この業種の18社のうち、9社がJSBI得点で100点を獲得しました。100位以内にランクインした企業は昨年（7社）より2社増えましたが、JSBI順位は1ランクダウンして12位です。

業種内ギャップは前回調査（15.10）と比べてその値が小さくなっているものの14.52と全業種で2番目に高く、個別の企業に対する評価にはバラツキがあることが示されました。

多くの日本車メーカーが高位置につけ、関連品メーカーが続き、ラグジュアリーなイメージのある外国車メーカーは苦戦しているという状況は今年も続いています。

個別の企業を見てみると、王者の一画であるトヨタ自動車の高評価は依然として健在ですが、その他の企業の評価に変動がありました。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	トヨタ自動車(TOYOTA)	108.40	2	2
2	スズキ(SUZUKI)	103.59	34	48
3	ヤマハ発動機 *輸送用機器	102.73	61	99
4	日産自動車(NISSAN)	101.94	84	27
5	テスラ(Tesla)	101.67	102	70
平均値		99.66		
最高値		108.40	2	2
最低値		93.88	304	290
業種内ギャップ（最高値-最低値）		14.52		

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

13位：精密機器・事務用品 (18社)

この業種の18社のうち、9社がJSBI得点で100点以上を獲得しました。JSBI得点の平均値は99.61点となり、昨年(99.54点)よりも若干上がりましたが、順位は変わらず13位です。

この業種の傾向として、SDGs評価得点よりもSDGs貢献イメージ得点の方が高いという点が見られます。この傾向に当てはまる企業には、SDGsの具体的な実践について伝えていくこと期待されます。

個別の企業についてみると、今回もアップルジャパンがこの業界のトップとなりました。JSBI得点、順位ともに上昇しています。また、大きな変化が見られたのは業種2位となったコクヨ(KOKUYO)です。75ランクアップして、全企業の中でも49位につけるという躍進です。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	アップルジャパン(Apple)	105.27	12	17
2	コクヨ(KOKUYO)	103.14	49	124
3	N E C(日本電気)	101.12	120	101
4	富士フイルム(FUJIFILM)	100.86	129	61
5	イトーキ*オフィス機器・家具他	100.80	132	142
平均値		99.61		
最高値		105.27	12	17
最低値		95.81	282	269
業種内ギャップ(最高値-最低値)		9.46		

14位：IT・情報・通信 (17社)

17社のうちJSBI得点が100点を超えたのは7社、JSBI得点の平均値は99.02となり、昨年度と同様に14位でした。

業種内ギャップは8.80で、昨年(7.25)より大きな値となったものの、総じて評価が芳しくない状況にあるといえます。

この業種の特徴として、SDGsイメージ貢献得点よりSDGs評価得点の方が高いという点が挙げられます。したがって、SDGsの取り組みのためにこの業種が担う役割について消費者に分かり易く伝えること、サステナブル・コミュニケーションに注力することが肝要です。

ただし、SDGs評価得点について、残念ながら全体の平均よりも低いという状況にあるため、実践的な取り組みもバランスよく行っていく必要があります。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	グーグル(google)	103.79	30	46
2	東日本電信電話(NTT東日本)	101.74	93	144
3	アマゾン ウェブ サービス ジャパン(AWS) クラウド・サービス	101.73	96	89
4	NTTデータ	101.41	109	82
5	日本マイクロソフト(Microsoft)	101.32	113	134
平均値		99.66		
最高値		108.40	2	46
最低値		93.88	304	273
業種内ギャップ(最高値-最低値)		14.52		

業種内ランキングとその傾向 -8 | 運輸・交通・レジャー & 専門サービス



JSBI : Japan Sustainable Brands Index

15位：運輸・交通・レジャー

(25社)

JSBI得点平均値は98.76点となり、昨年同様に全体で15番目の水準となりました。JSBI得点が100点を超える企業は10社となり、昨年（11社）よりも減少しました。新型コロナウイルスの影響を大きく受けた業種であったため、この分野を取り巻く環境が落ち着いていく中で、どのようにサステナブルな取り組みがなされるのか、注視されてきたところです。

今回の調査でも、旅行業界（ツーリスト）の評価が相対的に芳しくない傾向が見受けられました。

個別の企業の状況を見てみると、東日本高速道路（NEXCO東日本）が30ランクアップして業種トップになった一方で、オリエンタルランド（東京ディズニーリゾート）が80ランクダウンする等、地殻変動が起きました。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	東日本高速道路(NEXCO東日本)	103.85	28	58
2	商船三井	102.93	56	63
3	全日本空輸(ANA)	102.40	67	37
4	西日本旅客鉄道(JR西日本)	102.11	75	25
5	星野リゾート	101.76	91	103
平均値		98.76		
最高値		103.85	28	25
最低値		92.62	309	302
業種内ギャップ（最高値-最低値）		11.24		

16位：専門サービス

(6社)

前回調査では、JSBI得点が100点を超える企業が1社ありましたが、今回の調査ではこの業種のすべての企業が100点未満となりました。

前回の調査では、その前の2021年に比べて若干の上昇傾向が見られましたが、今回の調査ではJSBI得点の平均値は98.32点となり、前回調査（98.60点）より少し低い結果となってしまいました。

対象企業が最も少ない6社であることもありますが、業種内ギャップの値は3.76と全業種の中で最も小さく、業種の中で評価にバラツキがないことがわかります。したがって、総じて評価が芳しくないといえます。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	KPMG ジャパン	99.61	176	186
2	PwC Japanグループ	99.49	183	137
3	EY Japan	99.43	184	163
4	デロイト トーマツ グループ	98.78	199	216
5	パーソル*テンブスタッフ 他	96.76	261	255
平均値		98.32		
最高値		99.61	176	137
最低値		95.85	281	262
業種内ギャップ（最高値-最低値）		3.76		

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

17位：出版+教育、広告、印刷

(7社)

この業種の企業7社のうち、JSBI得点が100点を超えたのは1社にとどまりました。業種の平均は97.47点で、昨年（97.26点）より若干上昇しましたが、15位の水準ということになりました。

対象となる企業の数が少ないため、業種としての傾向を図りにくいところではありますが、昨年と同様にSDGs貢献イメージ得点に比べてSDGs評価得点の方が高いという結果が示されました。サステナブル・マーケティング、サステナブル・コミュニケーションへの注力が期待されると同時に、SDGs評価得点も十分とはいえないため、実践的な取り組みの充実も同時に図る必要があります。

個別企業についてみると、凸版印刷が30ランクアップして業種トップとなったという動きがありました。今後の進展に期待するところです。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	凸版印刷	101.09	122	152
2	学研ホールディングス(Gakken)	98.78	200	188
3	ベネッセホールディングス(Benesse)	98.61	210	151
4	大日本印刷	98.20	233	251
5	リクルートホールディングス	97.25	252	271
平均値		97.47		
最高値		101.09	122	151
最低値		91.64	310	305
業種内ギャップ（最高値-最低値）		9.46		

19位：放送・エンターテインメント

(12社)

この業種の12社のうちJSBI得点が100点を超えたのは昨年と同じ顔触れの3社にとどまりました。業種内ギャップは14.11と昨年（13.81）より開いています。全体の11位につけたウォルト・ディズニー・ジャパン突出していることを加味して考えるとやはり、この業種の評価が概ね芳しくないといえます。

下位20%に相当する250位以降となった企業が8社、その8社のうち3社は300位以降となり、平均値が下がる結果に結びついています。

昨年と同様にSDGs評価得点の方がSDGs貢献イメージ得点より高いという傾向が見られました。前回は指摘したように依然として「SDGsに貢献していそうだ」と思ってもらえていない可能性があります。サステナブル・マーケティングに注力していく必要があるでしょう。これまでと同様に放送業界が苦戦しています。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	ウォルト・ディズニー・ジャパン	105.32	11	10
2	任天堂	102.02	82	78
3	ソニー・インタラクティブエンタテインメント(PlayStation)	100.04	164	118
4	LEGO	99.02	194	235
5	TBSテレビ	97.03	255	274
平均値		97.22		
最高値		105.32	11	10
最低値		91.21	311	304
業種内ギャップ（最高値-最低値）		14.11		

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

19位：金融・保険 (21社)

この業種には今回もJSBI得点が100点に達した企業はなく、これまでの調査と同様に、業種全体として評価が芳しくありませんでした。最高位でも179位で、前回調査（160位）よりも20位近く下がっています。今年もSDGs評価得点・SDGs貢献イメージ得点・JSBI得点のすべてにおいて、全業種の中で最下位となりました。

昨年度の調査では、業種内の傾向として損害保険業界は上昇傾向、クレジットカード業界は下降傾向といった傾向が見られましたが、今回の調査においては、損害保険業界・生命保険業界・クレジットカード業界のいずれも業界として共通した動きは見られませんでした。

個別の企業を見ていくと前回調査と比べてJSBI得点の順位が120位以上下がるなど、一部の企業においては見逃せない状況があることも分かりました。

未だSDGsとの結びつきを見出すのが難しい状況が続きますが、今後に期待するところです。

	企業名	JSBI2023 得点	全体 順位	前年 順位
1	ジェーシービー(JCB Card)	99.57	179	217
2	東京海上日動	98.33	227	199
3	VISA(VISA Card)	98.27	230	206
4	三井住友銀行(SMBC)	97.46	245	261
5	第一生命	97.43	247	238
平均値		95.86		
最高値		99.57	179	160
最低値		90.55	312	306
業種内ギャップ（最高値-最低値）		9.02		

VI. SDGs認知調査

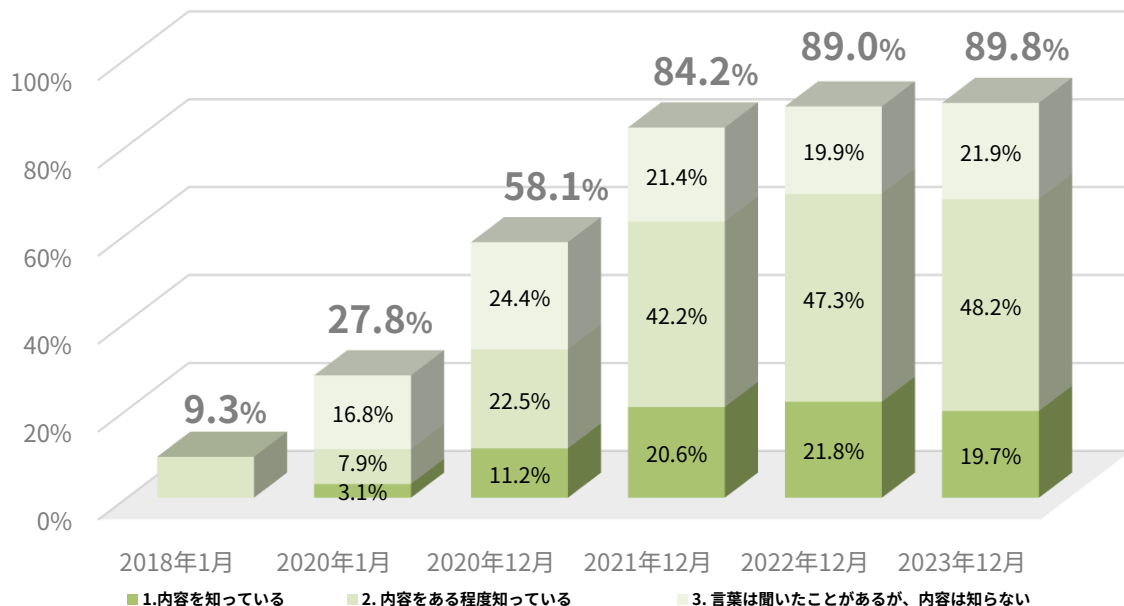


SDGs認知度の経年変化

JSBI : Japan Sustainable Brands Index



SDGsの認知度の経年変化



調査開始の2018年4年間、SDGsの認知度はうなぎ登りになっていましたが、89.8%と昨年から飽和状態に近い状態となってきました。

一方で、割合を見ると、昨年から2割の内容を知る人、2割の言葉だけを知っている人と変化があまり見られません。

2030年のSDGsを達成するためには、企業がSDGsに配慮した製品やサービスを生み出し、認知からさらなる行動変容へと導くことが求められます。

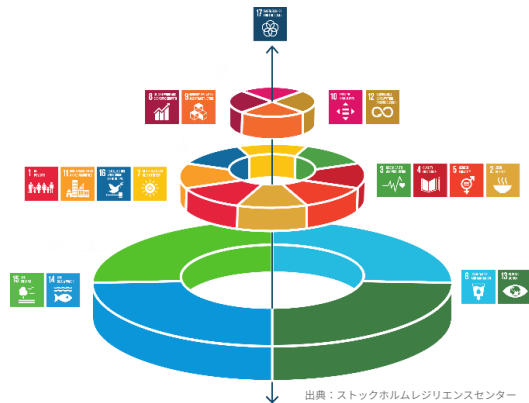
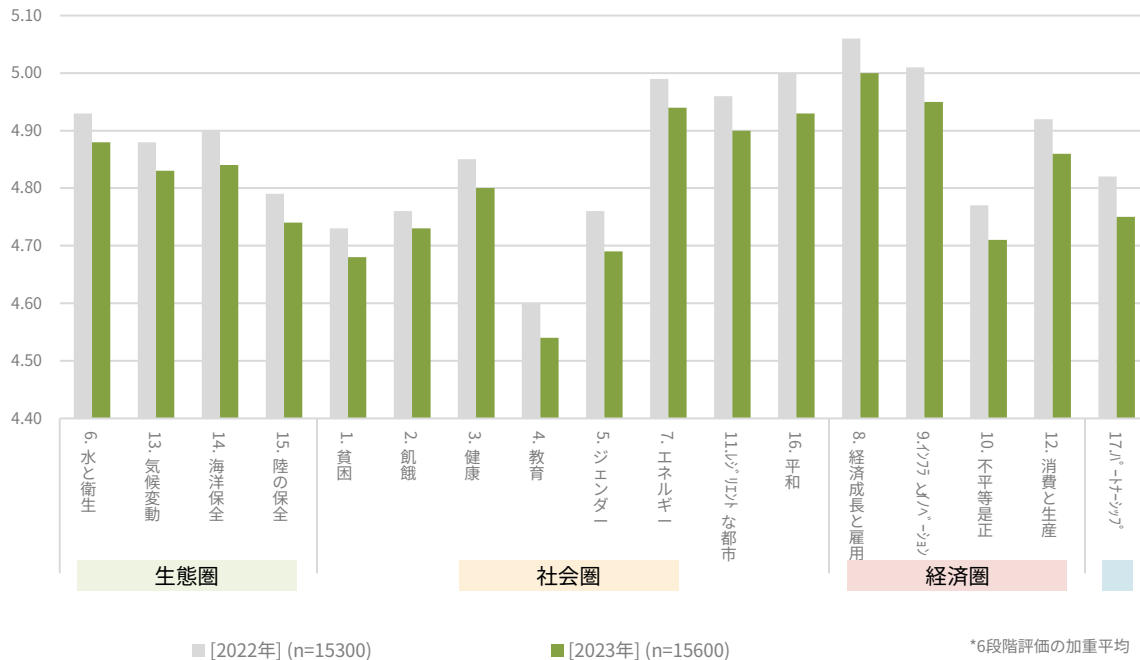
※ JSBI定型レポートでは、属性分析データも抽出可能です。例えば、10代-20代の男性の30%はSDGsの内容を知っていると回答し他の世代より理解度が高い。世帯年収800万以上のSDGs認知は92%を超えているなどが読み取れます。

上グラフ引用) 2018年1月,2020年1月はサステナブル ブランド ジャパンと(株) インタージェの調査、2020年12月、2021年12月、2022年12月、2023年12月はサステナブル ブランド ジャパンの調査。

生活者が考える「企業が取り組むべきSDGs17目標」

SDGs 17目標重要度 | JSBI : Japan Sustainable Brands Index

SDGs17目標重要度（前年比較）



SDGsの認知度が9割近くと飽和状態になった一方で、重要度は全体的に低下しています。

「SDGs疲れ?」が起きている可能性があり、さらに一歩進めて、サステナビリティの行動変容を促す商品やサービスの開発が企業には求められています。

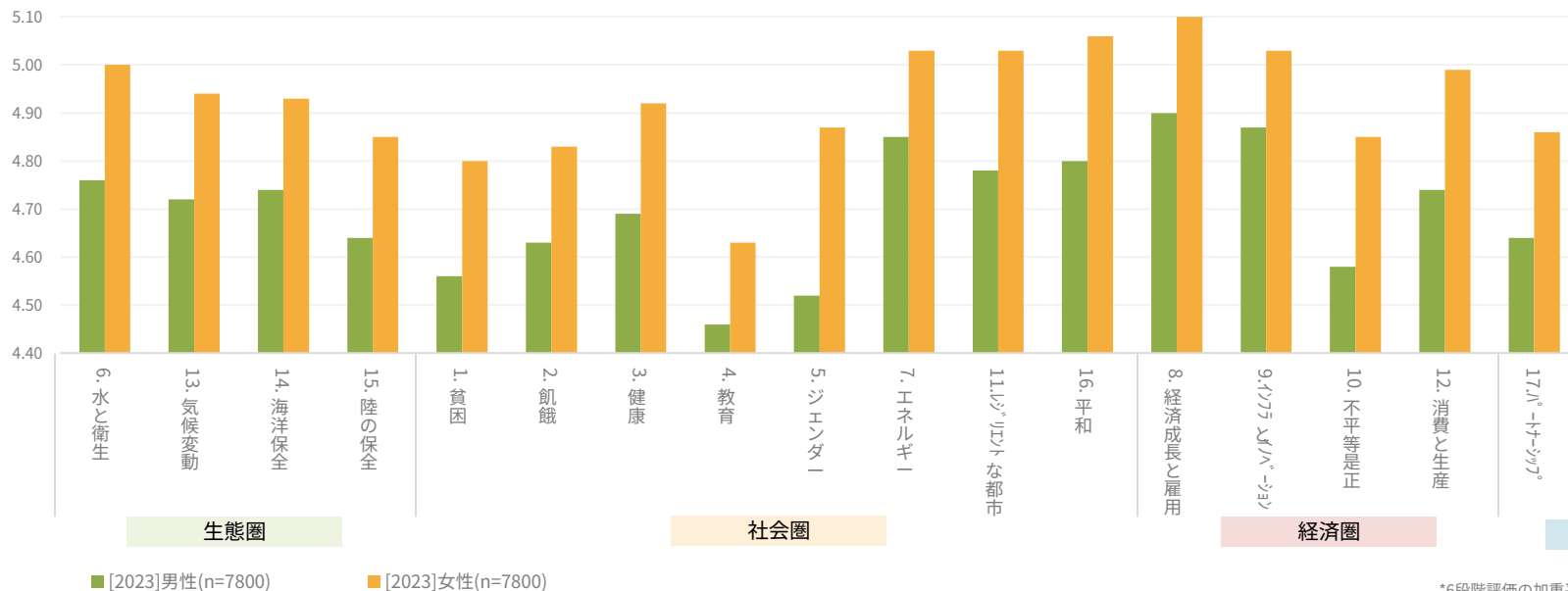
生活者が考える「企業が取り組むべきSDGs17目標」（男女別による違い）



SDGs 17目標重要度 | JSBI: Japan Sustainable Brands Index

💡 男女の差で見ると、全体として女性が、SDGsを大きく重視しています。
特に、男女の差が大きいのが、5.ジェンダー、10.不平等是正、1.貧困といった社会問題や、6.水と衛生、16.平和などにも女性は重視しています。

SDGsの性別 17目標重要度（2023）



*6段階評価の加重平均

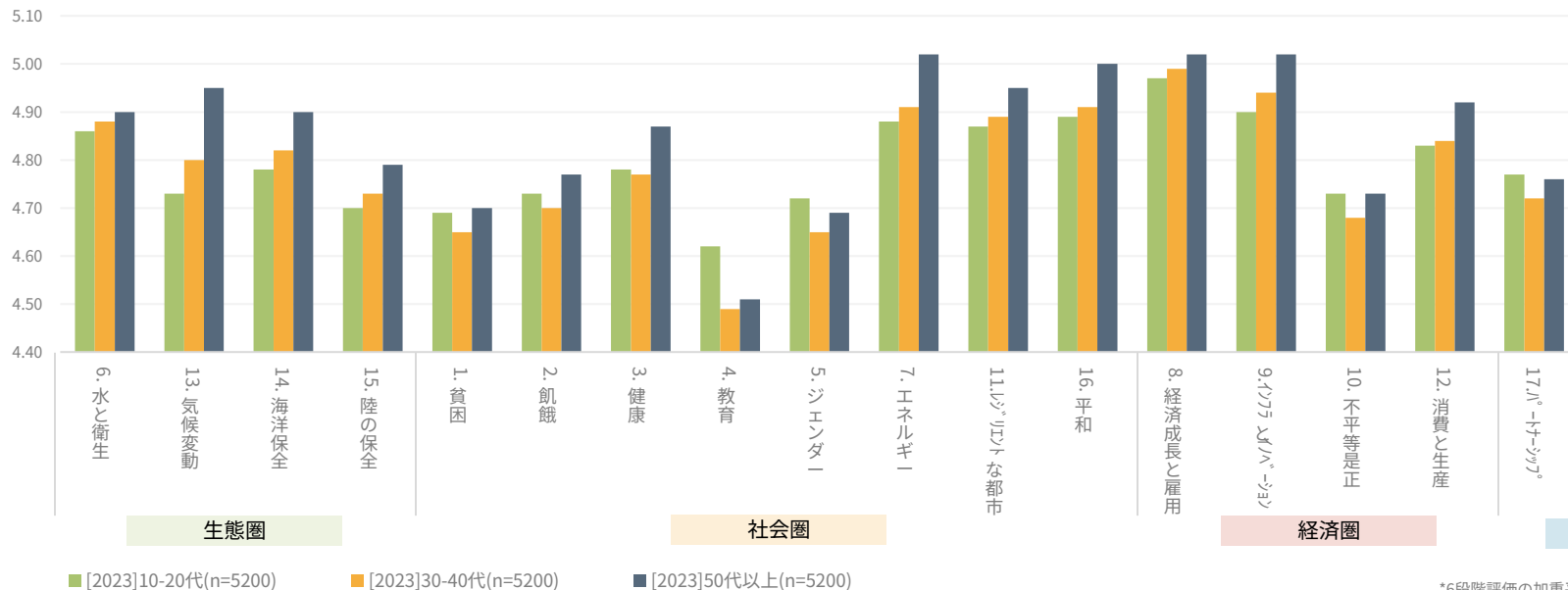
生活者が考える「企業が取り組むべきSDGs17目標」（世代別による違い）



SDGs 17目標重要度 | JSBI: Japan Sustainable Brands Index

💡 世代別に見ると50代以上がSDGsを重要視していることがわかります。一方、教育、ジェンダー、不平等是正といった社会課題には10,20代が強い関心を示しており、さらにパートナーシップによる解決を希求しています。

SDGsの世代別 17目標重要度（2023）



*6段階評価の加重平均

生活者が企業に期待する「SDGs17目標」とそれに対する評価

SDGs 17目標企業評価 | JSBI : Japan Sustainable Brands Index

SDGs重要度 とSDGs企業評価



SDGs重要度と企業評価のギャップにこそ、生活者のサステナビリティへのニーズが隠されているのではないのでしょうか？

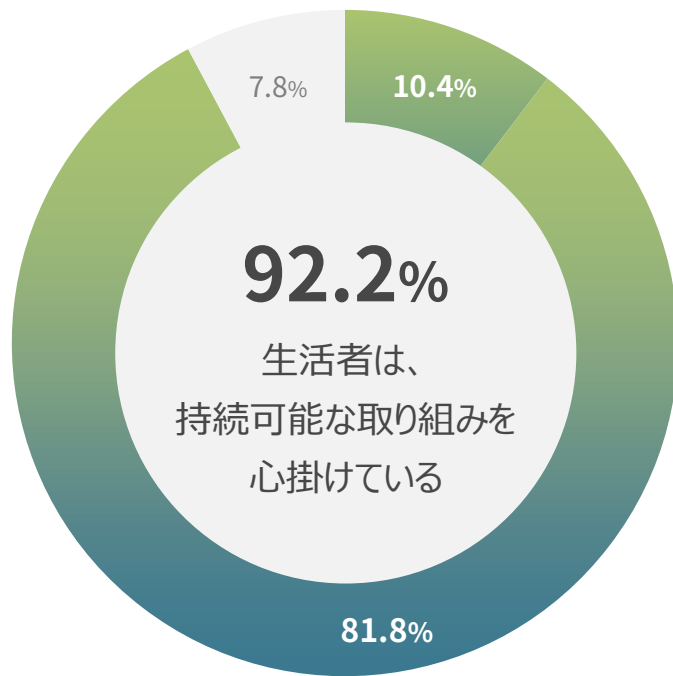
エネルギー、レジリエントな都市、平和、気候変動、海洋保全などについては、生活者が重要度を感じているのに、企業としては解決できていないことがわかります。

ここにこそ、サステナブル・マーケティングを展開する必要があるのではないのでしょうか。



生活者のサステナビリティに関する取り組みの調査

サステナブルな取り組みに関する生活者の意識



常に心掛けている
strong intentions

時々心掛けている
moderate intentions

心がけたことはない
no intentions



Q地球、人々、資源を守るための行動をどの程度心にかけているか、教えてください。n=15,600 Strong intentions (T2B): 1,623, Moderate intentions (M3B): 12,374, No intentions (B2B): 1,977



ブランドと生活者が一緒にできる、最もインパクトのある

9つのサステナブル・アクション

THE 9 MOST IMPACTFUL SUSTAINABLE BEHAVIORS



気候変動への対応 ADDRESS CLIMATE CRISIS



野菜中心の食習慣を
EAT MORE PLANTS

植物由来の食品を中心とした食生活を送る



限りあるエネルギー利用をより効率的に
BE ENERGY SMART

可能な限りエネルギーを節約し、
再生可能エネルギーを使用する



長く使うことを前提に
THINK DURABLE

使い捨てを減らし、長く繰り返し利用可能な
製品を選ぶ

くらしの中での資源保持 PRESERVE RESOURCES FOR LIFE



水と食品廃棄を減らす
REDUCE WATER + FOOD WASTE

水や食品廃棄を最小限に抑える



より循環型に
GO CIRCULAR

可能な限りリサイクルに努め、
リサイクル素材を使用した製品を選択する



自然に優しいものを選ぶ
CHOOSE NATURE FRIENDLY

環境や生物多様性を配慮した製品を選ぶ

しなやかで多様な社会の促進 FOSTER RESILIENT SOCIETIES



女性活躍の支援
SUPPORT WOMEN & GIRLS

女性が主体となって行うビジネスを
サポートする商品や活動を応援する



公平さと機会の拡大
EXPAND EQUITY & OPPORTUNITY

インクルーシブかつ公平なスタンス、
行動、製品を提供するブランドを支持する



主義主張をもつ
SHOW UP

意思を持って活動に積極的に参加し、
持続可能な生活を支援する企業の製品を購入し、
支持を表明する



日常的に実施してる人の特徴

THE 9 MOST IMPACTFUL SUSTAINABLE BEHAVIORS

気候変動への対応

ADDRESS CLIMATE CRISIS

野菜中心の食習慣を

EAT MORE PLANTS



10代-20代の男子学生

世帯年収 800万以上の50代以上の女性

限りあるエネルギー利用をより効率的に

BE ENERGY SMART



子どもがいる50代以上
(世帯年収 800万以上)

長く使うことを前提に

THINK DURABLE



10代-20代の男子学生

世帯年収 1200万以上の女性 (50代以上)

くらしの中での資源保持

PRESERVE RESOURCES FOR LIFE

水と食品廃棄を減らす

REDUCE WATER + FOOD WASTE



学生

50代以上の女性

より循環型に

GO CIRCULAR



学生

子どもがいる50代以上の女性
(世帯年収1000万以上)

自然に優しいものを選ぶ

CHOOSE NATURE FRIENDLY



10代-20代の学生

世帯年収 1200万以上

しなやかで多様な社会の促進

FOSTER RESILIENT SOCIETIES

女性活躍の支援

SUPPORT WOMEN & GIRLS



10代-20代の独身

公平さと機会の拡大

EXPAND EQUITY & OPPORTUNITY



10代-20代の独身男性

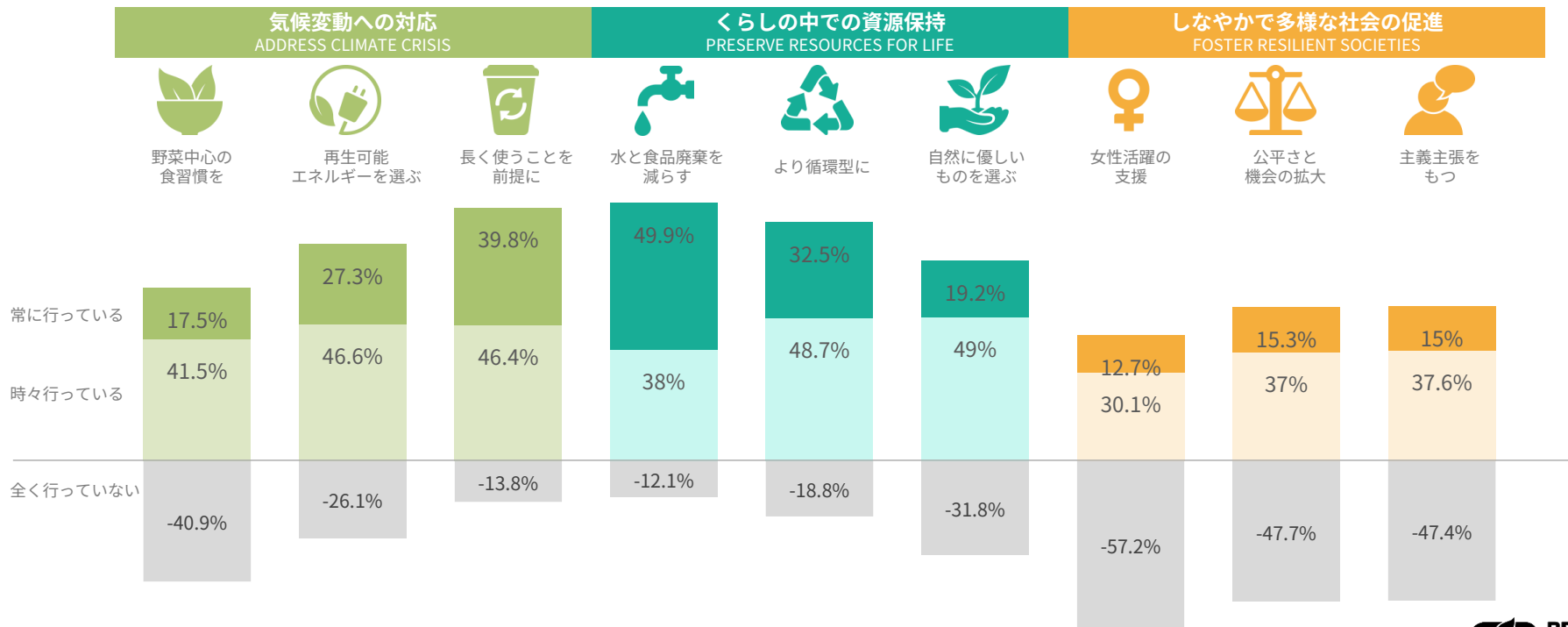
主義主張をもつ

SHOW UP



10代-20代の独身男性

生活の中で行ったサステナブル・アクション (過去1年)



Q過去12ヶ月の間に、どのくらいの頻度で次の行動をとったか教えてください。n=15600

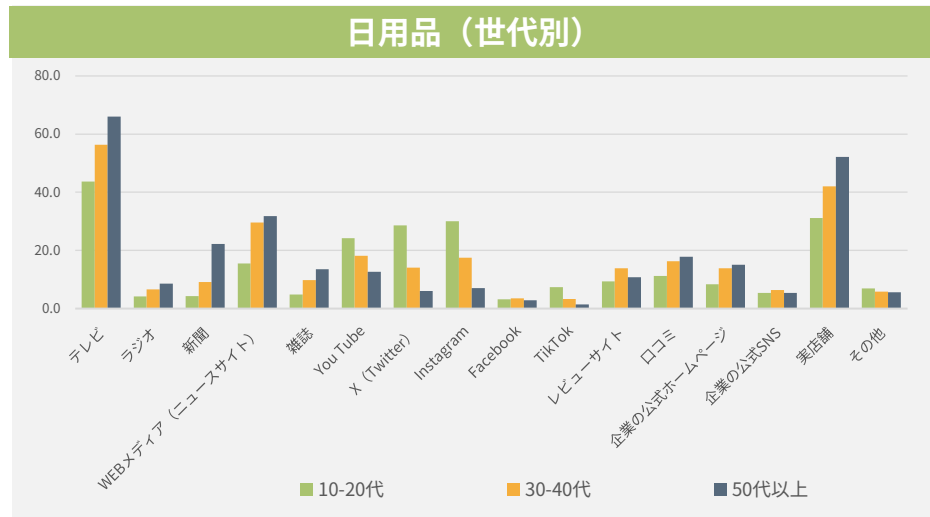




情報収集媒体に関する調査

情報収集媒体 -1 [日用品 | 世代別]

- 1 テレビ 55.3%
- 2 実店舗 41.8%
- 3 WEBメディア (ニュースサイト) 25.6%



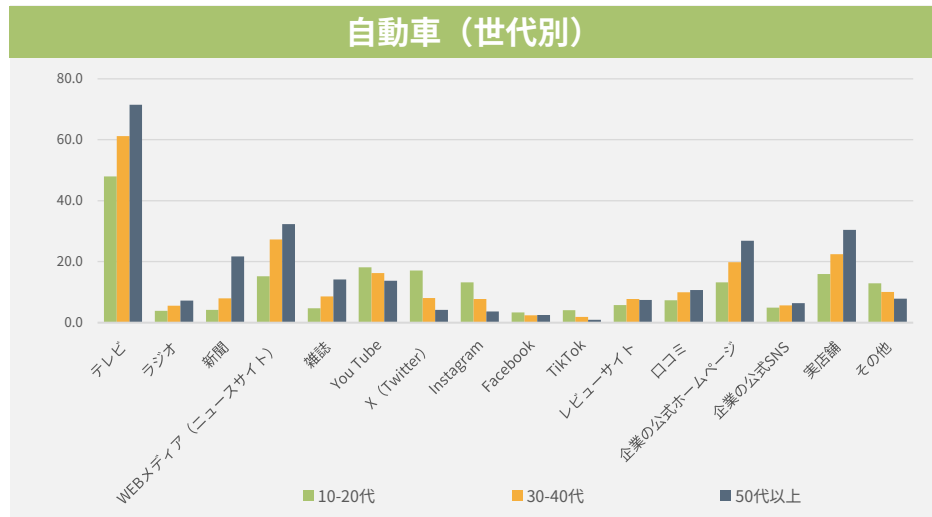
いずれの年代においても、日用品に関する情報収集は「テレビ」の他、「実店舗」において行っていることが判明しました。世代別の特徴として、50代以上が他の年代に比べて「新聞」、30代以上が10代-20代に比べて「ウェブメディア (ニュースサイト)」を活用していることが示されました。また、10代-20代は30代以上に比べて「YouTube」、「X」、「Instagram」を活用しています。

Qあなたは、次のような業界の商品の情報を、どのような媒体で得ることが多いですか。当てはまるものをすべてお答えください。n=15600

	【10-20代】	【30-40代】	【50代以上】
1	テレビ (43.7%)	テレビ (56.3%)	テレビ (66.0%)
2	実店舗 (31.1%)	実店舗 (42.0%)	実店舗 (52.2%)
3	Instagram (30.0%)	WEBメディア (ニュースサイト) (29.6%)	WEBメディア (ニュースサイト) (31.8%)

情報収集媒体 -2 [自動車 - 世代別]

- 1 **テレビ** **60.2%**
- 2 **WEBメディア (ニュースサイト)** **24.9%**
- 3 **実店舗** **23.0%**



いずれの年代においても、自動車に関する情報収集は「テレビ」を活用しています。

日用品と比較して、「企業の公式ホームページ」を利用していることから、より能動的に情報探索している様子が窺えます。

また、10代-20代が日用品の場合ほど、「YouTube」、「X」、「Instagram」を利用していません。このアプローチを工夫することに進展の機会が見出せそうです。

Qあなたは、次のような業界の商品の情報を、どのような媒体で得ることが多いですか。当てはまるものをすべてお答えください。n=15600

	【10-20代】	【30-40代】	【50代以上】
1	テレビ (48.0%)	テレビ (61.2%)	テレビ (71.5%)
2	You Tube (18.2%)	WEBメディア (ニュースサイト) (27.3%)	WEBメディア (ニュースサイト) (32.3%)
3	Instagram (17.1%)	実店舗 (22.5%)	実店舗 (30.4%)

情報収集媒体 -3 [ファッション]

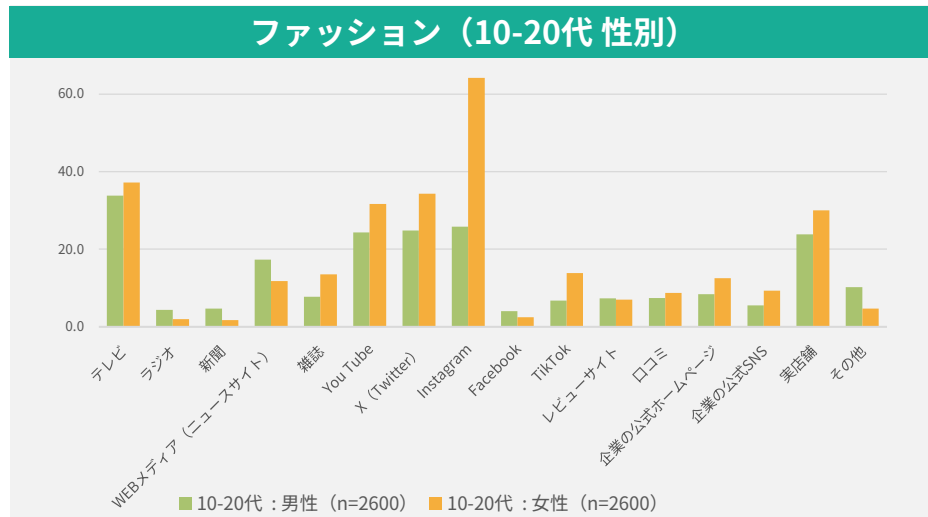
- 1 テレビ 46.1%
- 2 実店舗 36.8%
- 3 Instagram 26.8%

ファッションに関する情報収集においては、男女ともに「テレビ」と「実店舗」を活用しています。

男性の方が多く利用しているのは「ラジオ」、「新聞」、「WEBメディア（ニュースサイト）」であり、彼らが組織から発信された言語情報、すなわち機能的な側面に注目していると推察できます。

一方で、女性は「Instagram」に代表されるように、その商品が実際どのように見えるのか、着心地はどうかといった情報を多様な発信者から収集しています。

Qあなたは、次のような業界の商品の情報を、どのような媒体で得ることが多いですか。当てはまるものをすべてお答えください。n=15600



【10-20代 : 男性】 (n=2600)

【10-20代 : 女性】 (n=2600)



テレビ
(33.8%)

Instagram
(64.2%)



Instagram
(25.8%)

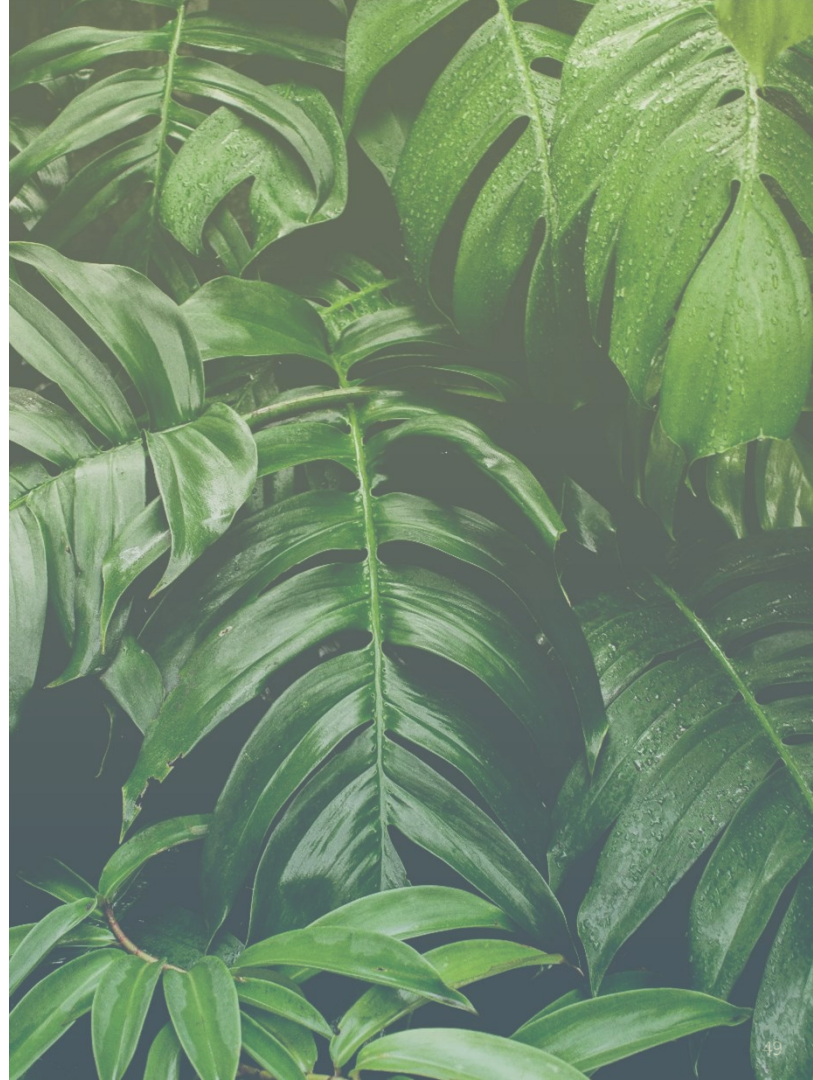
テレビ
(37.2%)



X (Twitter)
(24.8%)

X (Twitter)
(34.3%)

調査概要



調査方法

JSBI : Japan Sustainable Brands Index



調査方法

インターネット調査

回答者は、ランダムにグループ分けされた6つの企業
(対象企業社数計312社) について、それぞれ30問の設問に回答しました



調査対象者

18歳-79歳の男女

スクリーニング調査で「対象企業を知らない」と回答した人を除外して
本調査を実施しました。

属性：年齢・地域・最終学歴・世帯収入



調査地域

全国47都道府県



使用パネル

予め登録されたクローズドモニターによって構成されたパネル



調査期間

2023年12月8日～12月28日



回収数

15,600サンプル

1社あたりの回答者数は300サンプル



実施調査機関

株式会社サーベイリサーチセンター



- 本報告書の見方
各調査結果については、原則として、調査数〔調査に回答した全体数〕を基数 (n) とした百分率 (%) で表しています。
なお、回答比率は四捨五入している関係上、百分率の合計が100%にならない場合があります。

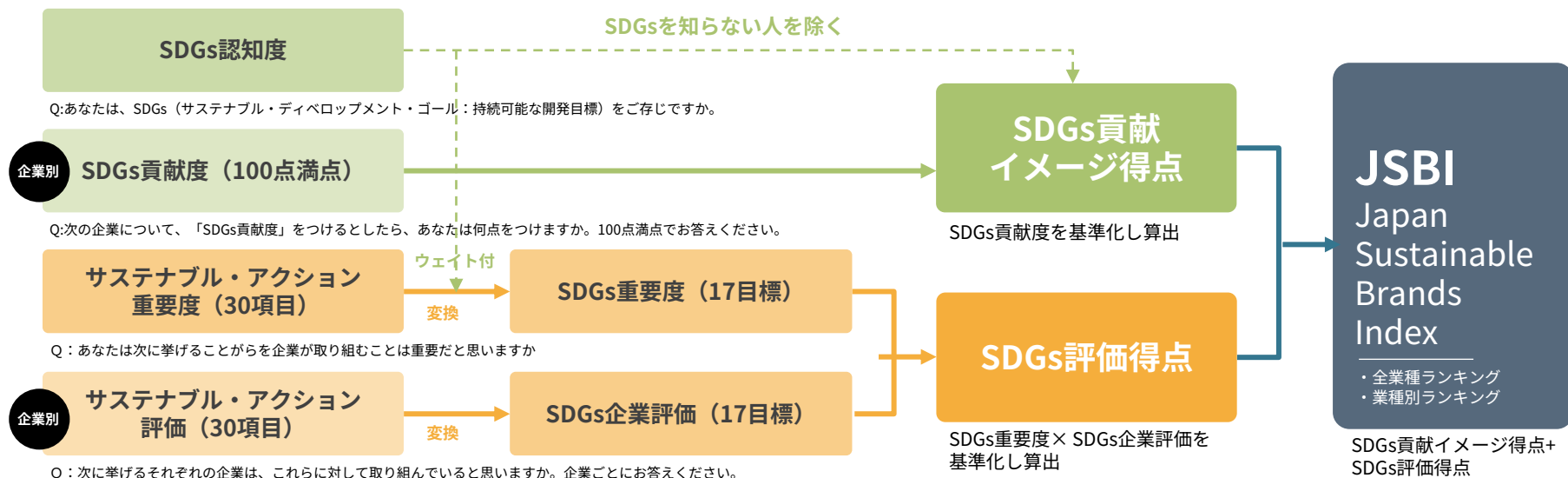
ジャパン・サステナブルブランド・インデックスの仕組み

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

調査項目

インデックスの仕組み

インデックス指標



調査開始の2018年からの4年間、SDGsの認知度はうなぎ登りとなっていました。89.8%と昨年から飽和状態に近い状態となってきました。一方で、割合を見ると、昨年から2割の内容を知る人、2割の言葉だけを知っている人と変化があまり見られません。2030年のSDGsを達成するためには、企業がSDGsに配慮した製品やサービスを生み出し、認知からさらなる行動変容へと導くことが求められます。

世代別に見ると50代以上がSDGsを重要視していることがわかります。一方、教育、ジェンダー、不平等是正といった社会課題には10,20代が強い関心を示しており、さらにパートナーシップによる解決を希求しています。

「良品計画（無印良品）」が、昨年に引き続き1位です。僅差で「トヨタ自動車（TOYOTA）」が2位となりました。トヨタ自動車は調査開始以来SDGs評価得点において首位を独占し続けており、SDGs貢献イメージ得点も高く、バランスがとれています。2年連続トップの良品計画、3位となったファーストリテイリングは、SDGs評価得点よりSDGs貢献イメージ得点の方が相対的に高いという結果です。住友林業、クボタなど第1次産業に関わる企業の評価が高いのもJSBIの特徴だと言えるでしょう。

生活者のサステナビリティへのニーズを明確にするために、SDGs度と企業評価のギャップを抽出しました。エネルギー、レジリエントな都市、平和、気候変動、海洋保全などについては、生活者が重要度を感じているのに、企業では解決できていないことがわかります。ここにこそ、サステナブル・マーケティングを展開する必要があるのではないでしょうか。

今回の調査では情報収集の媒体を調査しました。いずれの年代においても、日用品に関する情報収集は「テレビ」の他、「実店舗」において行っていることが判明しました。また、50代以上が他の年代に比べて「新聞」、30代以上が10代-20代に比べて「ウェブメディア（ニュースサイト）」を活用していることが示されました。また、10代・20代は30代以上に比べて「YouTube」、「X」、「Instagram」を活用しています。適切なサステナブル・コミュニケーションができていないかを再検討する必要があるかも知れません。

今後の課題と提言

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

今回は、調査企業数を312社に限定しました。4回目の調査を経ましたが、常に高い評価を得ている企業、その評価を得るのに苦労されている企業、妥当な戦略によって正当な評価を得た企業と、様々な企業戦略の姿が見えてきております。

今後も、調査対象社数を検討し、さらに調査手法を精査しながら、経年的に調査を続けることで、JSBIを皆様のサステナブル活動にとって有用な指標にして参ります。

また、昨年から認知度が飽和状態となってきました。しかし、その17目標に対する重要度は昨年より下がっており、その中身を見ると、昨年から2割の内容を知る人、4割強の内容をある程度知る人、2割の言葉だけを知っている人と、その割合に変化があまり見られません。

2030年のSDGsを達成するためには、企業がSDGsに配慮した製品やサービスを生み出し、認知からさらなる行動変容へと導くことが求められます。それぞれの企業が個々の経営資源を効率的・効果的に活用しながら、未来への方向性を見定め、生活者をサステナブルな暮らしに巻き込むことで、日本のサステナビリティを世界へと広げて頂けることを願っております。

今後とも皆様の企業活動を支援できるような指標の提供して参ります。

個々の企業における結果については、

お問い合わせ先：

サステナブル ブランド ジャパン (info@sustainablebrands.jp)

調査対象企業一覧（五十音順 / 312社）



JSBI : Japan Sustainable Brands Index

I-ne *BOTANIST・YOLU他	ウォルト・ディズニー・ジャパン	オリックス(ORIX)	KDDI(au)	商船三井	ソフトバンク(SoftBank)
アイリスオーヤマ	内田洋行*オフィス機器・家具他	オリンパス	KPMG ジャパン	ジョンソン・エンド・ジョンソン	損害保険ジャパン(SOMPO)
アウディ	エイチ・アイ・エス(HIS)	貝印	ケリング・グループ*グッチ他	すかいらーく*ガスト他	第一生命
旭化成(AsahiKASEI)	H&M	花王(Kao)	コーセー(KOSE)	スズキ(SUZUKI)	タイガー魔法瓶
旭化成ホームズ(ヘーベルハウス)	エーザイ(Eisai)	カゴメ(KAGOME)	ゴールドウィン*ザ・ノース・フェイス他	スターバックスジャパン(STARBUCKS)	ダイキン工業(DAIKIN)
アサヒビール(Asahi)	江崎グリコ	カンオ計算機(CASIO)	コクヨ(KOKUYO)	ステラマッカートニー	大成建設
味の素(AJINOMOTO)	S A P ジャパン	鹿島	コスモ石油	スノーピーク(snow peak)	ダイセル
味の素 A G F *ブレندي他	エステー	学研ホールディングス(Gakken)	コニカミノルタ	スバル(SUBARU)	ダイソー
アシックス(ASICS)	N E C (日本電気)	カネカ(kaneka)	小林製薬	住友化学	ダイソン(dyson)
アスクル(ASKUL)	NECネットエスアイ	カルビー(calbee)	小松製作所(KOMATSU)	住友ゴム工業*ダンロップ	大日本印刷
アストラゼネカ	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ	川崎重工	コメダ(珈琲所コメダ珈琲店)	住友生命保険	ダイハツ工業(Daihatsu)
UPDATER(みんな電力)	N T T データ	関西電力	サイゼリア	住友林業	大和証券
アップルジャパン(Apple)	N T T ドコモ(docomo)	かんぼ生命保険	佐川急便(SAGAWA)	生協(Co-op)	大和ハウス工業(Daiwa House)
アディダスジャパン(adidas)	ENEOS	キーコーヒー	サッポロビール(SAPPORO)	セイコー(SEIKO)	武田薬品工業
アフラック生命(Aflac)	MHD モエ ヘネシー ディアジオ *モエ・エ・シャンドン他	キッコーマン	サラヤ	セイコーエプソン(EPSON)	竹中工務店
アマゾン ウェブ サービス ジャパン(AWS)*	LVMHグループ*ルイヴィトン他	キッツ	サンスター	セールスフォース・ドットコム(salesforce)	ダスキン(DUSKIN)*衛生サービス
アマゾンジャパン(amazon)	エルメス(Hermes)	キヤノン(canon)	サントリー(SUNTORY)	積水化学工業(SEKISUI)	中外製薬
EY Japan	王子ネビア*ネビア他	キュービー	三和酒類*いいちこ他	積水ハウス(SEKISUI HOUSE)	ディー・エヌ・エー(DeNA)
イオン(AEON)	王子ホールディングス	QVC	JTB	セブン&アイ・ホールディングス*イトーヨーカ堂他	TBSテレビ
イケア(IKEA)	大阪ガス	京セラ(KYOCERA)	ジェーシービー(JCB Card)	セブン-イレブン・ジャパン(7-Eleven)	帝国ホテル
出光昭和シェル	大塚製薬(Otsuka)	麒麟ビール(KIRIN)	JERA	ゼンショーホールディングス*すき家・なか卯他	帝人(TEIJIN)
伊藤園(ITOEN)	大林組	近畿日本ツーリスト	資生堂(SHISEIDO)	全日本空輸(ANA)	帝人フロンティア
伊藤忠商事	オカムラ*オフィス機器・家具他	グーグル(google)	シチズン時計(CITIZEN)	象印マホービン	テスラ(Tesla)
伊藤ハム	小田急電鉄(odakyu)	クボタ(Kubota)	島津製作所	zozo	テルモ
イトーキ*オフィス機器・家具他	オムロン(OMRON)	クラシエ	清水建設	ソニー(SONY)	テレビ朝日
岩谷産業(Iwatani)	オリエンタルランド(東京ディズニーリゾート)	ガンゼ(GUNZE)	シャープ(SHARP)	ソニー・インタラクティブエンタテインメント (PlayStation)	デロイト トーマツ グループ

調査対象企業一覧（五十音順 / 312社）



JSBI : Japan Sustainable Brands Index

デンソー	日本アイ・ピー・エム(I B M)	パーソル*テンプスタッフ 他	ブラザー工業*ミシン・プリンター他	三菱電機(MITSUBISHI ELECTRIC)	雪印メグミルク
電通	日本航空(JAL)	ハウス食品(House)	ブリヂストン(BRIDGESTONE)	三菱ふそうトラック・バス	ユニ・チャーム(unicharm)
東海旅客鉄道(JR東海)	日本コカ・コーラ	博報堂	プリンスホテル	三菱UFJ銀行(MUFG)	ユニリーバ・ジャパン(Unilever)
東急電鉄(TOKYU)	日本水産(ニッスイ)	パナソ	ベネッセホールディングス(Benesse)	三菱UFJ信託銀行	横河電機*工業計器他
東京海上日動	日本製紙	パタゴニア(patagonia)	ポーラ(POLA)	村田製作所(muRata)	横浜ゴム(YOKOHAMA)
東京ガス(TOKYO GAS)	日本製紙クレシア*クリネックス・スコッティ他	パナソニック(Panasonic)	星野リゾート	明治(meiji)	吉野家
東京地下鉄(東京メトロ)	日本製鉄	バンダイナムコエンターテインメント	堀場製作所*計測機器	明治安田生命保険	吉本興業
東京電力(TEPCO)	日本生命保険(NISSAY)	P & G(プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)	ボルボ(VOLVO)	Meta(Facebook)	ライオン(LION)
東芝(TOSHIBA)	日本たばこ産業(JT)	BASF	ホンダ(HONDA)	メルカリ(mercari)	ライフ(LIFULL)
東洋水産*マルちゃん他	日本中央競馬会(JRA)	B MW	マツダ(MAZDA)	メルセデス・ベンツ	LINE
東レ(TORAY)	日本通運	PwC Japanグループ	丸井グループ	モスフードサービス(モスバーガー)	楽天グループ
TOTO	日本ハム	東日本高速道路(NEXCO東日本)	マルハニチロ	森永製菓(MORINAGA)	ラッシュジャパン(LUSH)
凸版印刷	日本放送協会(NHK)	東日本電信電話(NTT東日本)	ミズノ(mizuno)	森永乳業(morinaga)	リクシル(LIXIL)
ドトールコーヒー	日本マイクロソフト(Microsoft)	東日本旅客鉄道(JR東日本)	みずほ銀行(MIZUHO)	森ビル(MORI)	リクルートホールディングス
トヨタ自動車(TOYOTA)	日本マクドナルド	VISA(VISA Card)	三井化学	モンベル(mont-bell)	リコー(RICOH)
トリドールホールディングス*丸亀製麺他	日本郵政(日本郵政グループ)	日立製作所(HITACHI)	三井住友海上(MS&AD)	ヤクルト本社(Yakult)	良品計画(無印良品)
トリumpf・インターナショナル(Triumph)	日本郵船	ファーストリテイリング*ユニクロ・GU他	三井住友銀行(SMBC)	ヤフー(YAHOO!)	リンナイ(Rinnai)
ナイキ(NIKE)	日本郵便	ファミリーマート(FamilyMart)	三井住友信託銀行	山崎製パン	Loop(Loopでんき)
ニコン(Nikon)	日本旅行	ファンケル(FANCL)	三井物産	ヤマト運輸	LEGO
西日本旅客鉄道(JR西日本)	日本ロレアル(LOREAL)	フィリップモリス(Philip Morris)	三井不動産	ヤマハ(YAMAHA)*楽器	ローソン(LAWSON)
ニチレイ	任天堂	FOOD&LIFE COMPANIES*スシロー他	ミツカン(mizkan)	ヤマハ発動機*輸送用機器	ローテ製菓(ROHTO)
日揮ホールディングス	ネスレ(Nestle)*ネスカフェ・キットカット他	富士通(FUJITSU)	三越伊勢丹ホールディングス	ヤンマー(YANMAR)	ワークマン(WORKMAN)
日産自動車(NISSAN)	Netflix	フジテレビジョン	三菱ケミカルホールディングス	UR都市機構*UR賃貸住宅	YKK*ファスナー他
日清食品(NISSIN)	ノボルディスクファーマ	フジパンググループ本社	三菱地所	ユー・エス・ジェイ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)	YKK AP*アルミサッシ・窓 他
日清紡ホールディングス(NISSHINBO)	野村證券	富士フイルム(FUJIFILM)	三菱重工業	UCC上島珈琲	ワコール(Wacoal)
ニトリ	野村不動産	ブックオフコーポレーション	三菱商事	ゆうちょ銀行	ワタミグループ*和民・ワタミの宅食他

RESEARCH PROJECT TEAMS

JSBI : Japan Sustainable Brands Index

- 調査実施者 : サステナブル・ブランド ジャパン アカデミックチーム
- 監修 : 青木茂樹 (駒澤大学経営学部教授・サステナブル・ブランド国際会議 アカデミックプロデューサー)
- 調査設計 : 江戸克栄 (県立広島大学大学院教授)
- 調査設計補佐 : 落原大治 (法政大学大学院院生)
- CSRアドバイザー : 小山巖也 (関東学院大学学長)
- 報告書作成 : 矢崎陽子 (駒澤大学社会連携センタースタッフ)
- 発売元 : 株式会社 Force For GOOD
- 販売 : 株式会社博展

JSBI定型レポート（有料カスタマイズレポート） 販売のご案内

JSBI2023のランキングや得点を知ること以上に、業種別・個別の状況や特性を知り、適切なアプローチを図ることが重要です。個別企業の分析データ（競合比較・業種内ランキング・個社データ・属性データ）を3月下旬より販売を開始いたします。

企業が生活者にどのようなイメージを持たれているのか、実際の取り組みが生活者にどの程度認識されているのかなど、企業のサステナブル活動に関する生活者とのコミュニケーションにおける課題を可視化することで、今後の活動の指標としてお役立ていただけます。



個別企業を評価している回答者の顧客属性（性別、男女、年齢、所得など）の分析データを提供できます。



競合企業(比較対象:3社)と比較し、SDGs17目標の評価得点がどう異なっているのかを分析することができます。SDGsの17目標において、どこに差別化しながらどのような特徴を出してサステナブル・マーケティングを展開するべきかを考えるヒントとなります。



生活者がどのようなメディアによって情報入手しているかを知ることができ、サステナブル・コミュニケーションを適切にデザインすることができます。

※生活者のサステナビリティへの行動変容を促すような商品やサービスを考えるために、9つのサステナブルアクションを活用した「SB Pull Factor Workshop」も別途ご案内しております。

【ご希望の方は下記までお問合せください】

サステナブル・ブランド ジャパン(株式会社博展) : info@sustainablebrands.jp

